

# I 神奈川県工業生産の動向

## 1 概要 —生産指数は前年比2.7%と2年連続して上昇—

### (1) 生産の動向

生産指数（原指数）は、94.7で前年比2.7%上昇し、2年連続して上昇しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比2.7%低下し2期ぶりの低下、Ⅱ期は同4.2%上昇、Ⅲ期も同5.2%上昇、Ⅳ期は同1.4%低下しました。

#### <全国及び局管内の動き>

全国の製造工業指数（原指数）は、105.3で前年比0.1%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比0.6%上昇し2期連続の上昇、Ⅱ期は同1.8%低下、Ⅲ期は同2.9%上昇、Ⅳ期は同0.9%低下しました。

関東経済産業局管内の製造工業指数（原指数）は、93.4で前年比0.0%で横ばいとなりました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比2.0%低下し2期ぶりの低下、Ⅱ期は同0.1%上昇、Ⅲ期も同4.6%上昇、Ⅳ期は同1.9%低下しました。

### (2) 出荷の動向

出荷指数（原指数）は、90.8で前年比2.3%上昇し、2年連続して上昇しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比1.0%低下し3期連続の低下、Ⅱ期は同2.6%上昇、Ⅲ期も同4.5%上昇、Ⅳ期は同0.5%低下しました。

### (3) 在庫の動向

在庫指数（原指数）は、110.4で前年末比3.5%上昇し、2年連続して上昇しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期末比5.8%上昇し2期連続の上昇、Ⅱ期は同5.1%低下、Ⅲ期は同3.1%上昇、Ⅳ期も同0.9%上昇しました。

## ◎ 年間の動き

以上のように、生産指数（季節調整済指数）は、Ⅱ期、Ⅲ期は上昇、Ⅰ期、Ⅳ期は低下しました。出荷指数（同）も、Ⅱ期、Ⅲ期は上昇、Ⅰ期、Ⅳ期は低下しました。在庫指数（同）の前期末比では、Ⅰ期、Ⅲ期、Ⅳ期は上昇、Ⅱ期は低下しました。

また、生産指数（原指数）の前年同期比では、Ⅰ期は低下、Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅳ期は上昇しました。出荷指数（同）の前年同期比では、Ⅰ期、Ⅱ期は低下、Ⅲ期、Ⅳ期は上昇しました。在庫指数（同）の前年同期末比は、Ⅰ期、Ⅲ期、Ⅳ期は上昇、Ⅱ期は低下しました。

県内の工業生産は2年連続して上昇し、2022年は生産用機械工業や輸送機械工業などが上昇に寄与しました。

全国の工業生産の前年同期比では、Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅳ期は低下、Ⅲ期は上昇しました。

(P2図1・表1、P5表3、P6表4 参照)

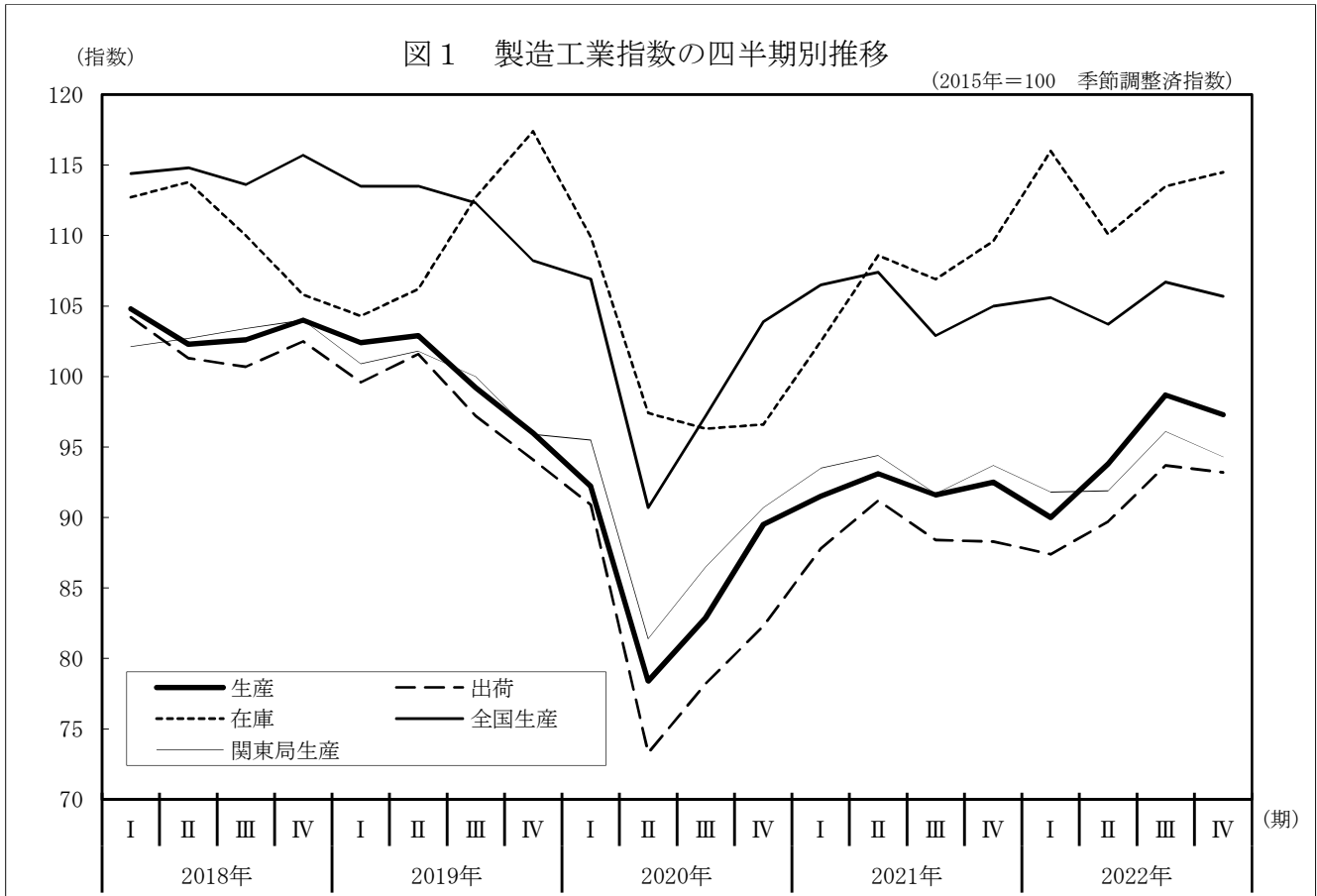


表1 製造工業指数の年別・四半期別推移

(2015年=100)

		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2022年			
							I	II	III	IV
神奈川県 生産	指数	103.4	99.7	86.0	92.2	94.7	90.0	93.8	98.7	97.3
	対前年(期)増減率%	△ 1.1	△ 3.6	△ 13.7	7.2	2.7	△ 2.7	4.2	5.2	△ 1.4
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	△ 2.5	0.1	9.2	4.5
出荷	指数	102.1	97.7	81.4	88.8	90.8	87.4	89.7	93.7	93.2
	対前年(期)増減率%	△ 2.4	△ 4.3	△ 16.7	9.1	2.3	△ 1.0	2.6	4.5	△ 0.5
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	△ 1.5	△ 1.4	8.3	3.5
在庫	指数	101.9	114.1	94.8	106.7	110.4	116.0	110.1	113.5	114.5
	対前年(期)末増減率%	△ 5.7	12.0	△ 16.9	12.6	3.5	5.8	△ 5.1	3.1	0.9
	対前年同期末増減率%	-	-	-	-	-	15.0	△ 0.1	5.4	3.5
全国 生産	指数	114.7	111.6	100.0	105.4	105.3	105.6	103.7	106.7	105.7
	対前年(期)増減率%	0.6	△ 2.7	△ 10.4	5.4	△ 0.1	0.6	△ 1.8	2.9	△ 0.9
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	△ 0.8	△ 3.5	4.1	△ 0.1
関東経済産業局管内 生産	指数	103.1	99.3	88.7	93.4	93.4	91.8	91.9	96.1	94.3
	対前年(期)増減率%	1.1	△ 3.7	△ 10.7	5.3	0.0	△ 2.0	0.1	4.6	△ 1.9
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	△ 1.9	△ 2.7	5.2	△ 0.3

\* 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数。ただし、対前年同期(末)増減率は原指数で計算

\* 関東経済産業局管内：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県の地域

#### (4) 業種別の動向

##### <生産>

業種別にみると、半導体製造装置やプラスチック加工機械などが増加した生産用機械工業（前年比28.2%上昇）や、小型乗用車などが増加した輸送機械工業（同8.5%上昇）など7業種が上昇しました。

また、無線応用装置などが減少した情報通信機械工業（前年比14.4%低下）など、13業種が低下しました。

##### <出荷>

業種別にみると、小型乗用車やエンジン（自動車用）などが増加した輸送機械工業（前年比11.0%上昇）や、フラットパネル・ディスプレイ製造装置などが増加した生産用機械工業（同30.8%上昇）など7業種が上昇しました。

また、ガソリンなどが減少した石油・石炭製品工業（前年比7.0%低下）など、13業種が低下しました。

##### <在庫>

業種別にみると、合成ゴムや合成洗剤などが増加した化学工業（前年末比12.9%上昇）やリチウムイオン蓄電池などが増加した電気機械工業（同52.3%上昇）など8業種が上昇しました。

また、普通トラックなどが減少した輸送機械工業（前年末比26.7%低下）など10業種が低下しました。

(P 3 図 2、P 4 表 2、P 5 表 3 参照)

図2 生産指数増減率に対する業種別寄与度の推移

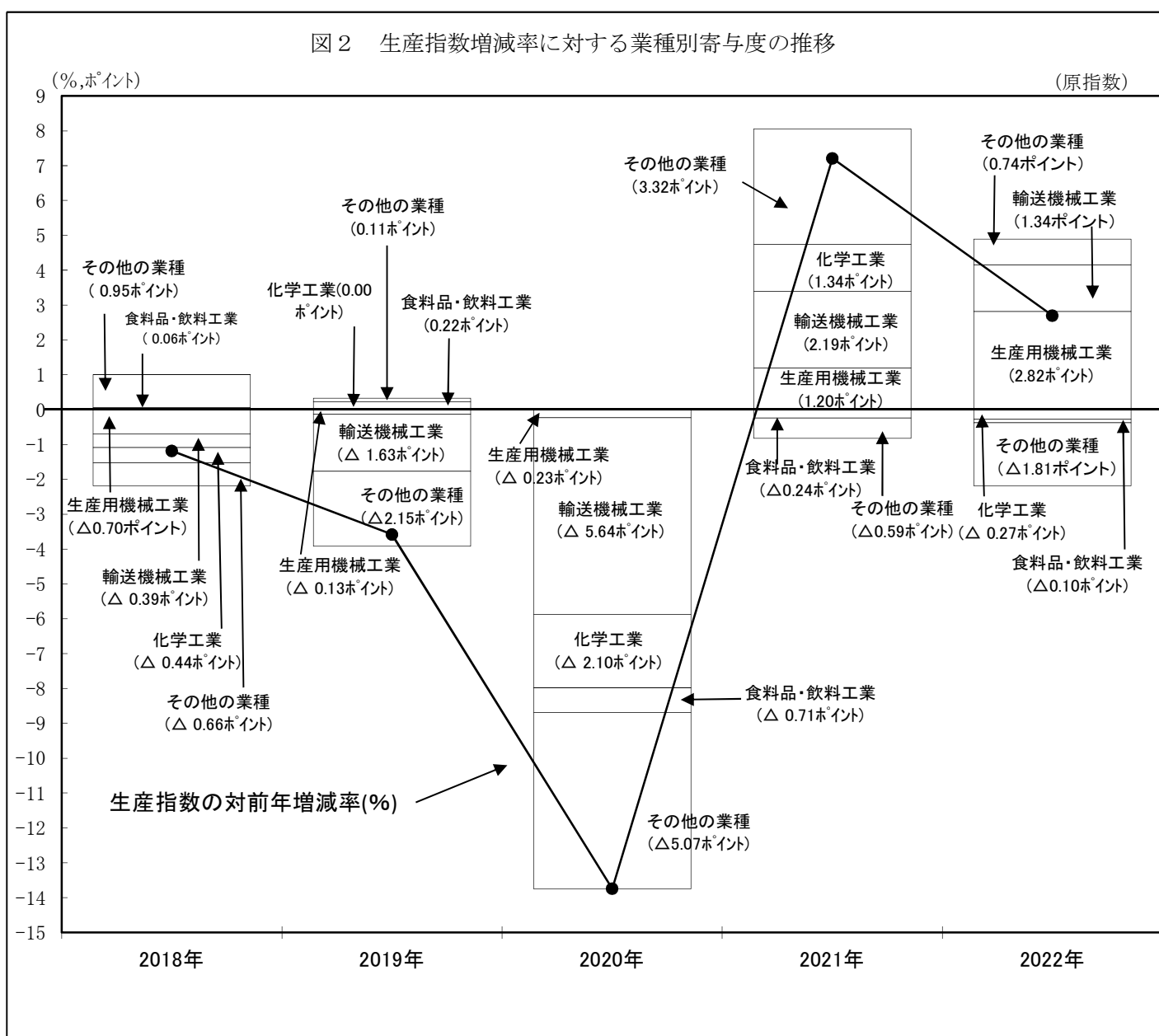


表2 工業生産指数の上昇・低下に寄与した主な業種と品目

(1) 生産 年指数 94.7 対前年増減率 2.7% 上昇7業種、低下13業種

業種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上 昇	生産用機械工業	28.2	2.82	増	半導体製造装置、プラスチック加工機械、フラットパネル・ディスプレイ製造装置など
				減	ダイヤモンド工具、食料品加工機械、機械プレスなど
	輸送機械工業	8.5	1.34	増	小型乗用車、エンジン(自動車用)、普通トラックなど
				減	小型トラック、特装ボデー、鉄道車両など
汎用機械工業	6.0	0.37	増	蒸気タービン部品、真空ポンプ、一般用蒸気タービンなど	
			減	汎用内燃機関、油圧機器、遠心式・吸収式冷凍機など	
低	情報通信機械工業	△ 14.4	△ 0.80	増	外部記憶装置
				減	無線応用装置、固定通信装置、デジタル伝送装置など
下	化学工業	△ 1.6	△ 0.27	増	医薬品、化粧品、合成洗剤など
				減	酸化エチレン、プロピレン、エチレンなど
	非鉄金属工業	△ 11.1	△ 0.25	増	光ファイバ心線、軽合金鋳物
				減	光ファイバ通信用ケーブル、伸銅製品、ダイカストなど
食料品・飲料工業	△ 0.7	△ 0.10	増	肉製品、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、清涼飲料(炭酸飲料除く)など	
			減	その他の調味料、冷凍調理食品、果実酒など	

(2) 出荷 年指数 90.8 対前年増減率 2.3% 上昇7業種、低下13業種

業種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上 昇	輸送機械工業	11.0	2.43	増	小型乗用車、エンジン(自動車用)、普通トラックなど
				減	小型トラック、鉄道車両、特装ボデーなど
	生産用機械工業	30.8	2.16	増	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置、プラスチック加工機械など
				減	食料品加工機械、ダイヤモンド工具、機械プレスなど
食料品・飲料工業	0.3	0.04	増	肉製品、ビール・発泡酒、菓子パンなど	
			減	その他の調味料、冷凍調理食品、チョコレートなど	
低 下	石油・石炭製品工業	△ 7.0	△ 0.96	増	精製及び混合原料油、ジェット燃料油、アスファルトなど
				減	ガソリン、ナフサ、液化石油ガスなど
	情報通信機械工業	△ 15.7	△ 0.62	増	外部記憶装置
				減	無線応用装置、固定通信装置、デジタル伝送装置など
化学工業	△ 3.4	△ 0.45	増	医薬品、化粧品、合成洗剤など	
			減	合成ゴム、プロピレン、エチレンなど	
非鉄金属工業	△ 9.5	△ 0.25	増	銅電線、光ファイバ心線、軽合金鋳物	
			減	光ファイバ通信用ケーブル、伸銅製品、ダイカストなど	

(3) 在庫 年指数 110.4 対前年末増減率 3.5% 上昇8業種、低下10業種

業種		対前年末増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上 昇	化学工業	12.9	3.20	増	合成ゴム、合成洗剤、ポリプロピレングリコールなど
				減	身体用洗浄剤、ポリエチレン、ポリプロピレンなど
	電気機械工業	52.3	3.09	増	リチウムイオン蓄電池、自動車用照明器具
				減	換気扇、蛍光灯
食料品・飲料工業	16.0	0.90	増	チョコレート、焼ちゅう、ビール・発泡酒など	
			減	混合植物油脂、小麦粉	
業務用機械工業	31.3	0.46	増	工業用計重機、積算体積計、精密測定機	
			減	—	
生産用機械工業	4.2	0.14	増	数値制御放電加工機、収穫調整用機器、マシニングセンタ	
			減	ダイヤモンド工具、特殊鋼切削工具、C(W)BN工具	
低 下	輸送機械工業	△ 26.7	△ 4.07	増	大型バス、けん引車、普通乗用車など
				減	普通トラック、小型トラック
	汎用機械工業	△ 7.8	△ 0.88	増	軸受、圧縮機、冷凍・空調用冷却塔
				減	汎用内燃機関、真空ポンプ、ポンプ

表 3

業種別年指数・対前年増減率

(2015年=100 原指数)

業種	項目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		2019年	2020年	2021年	2022年	2019年	2020年	2021年	2022年	2019年	2020年	2021年	2022年	2019年	2020年	2021年	2022年
製造工業	指 数	99.7	86.0	92.2	94.7	97.7	81.4	88.8	90.8	114.1	94.8	106.7	110.4	114.7	136.6	116.2	133.4
	対前年増減率%	△ 3.6	△ 13.7	7.2	2.7	△ 4.3	△ 16.7	9.1	2.3	12.0	△ 16.9	12.6	3.5	5.5	19.1	△ 14.9	14.8
鉄鋼業	指 数	83.7	64.8	72.5	64.9	92.8	78.0	83.2	80.8	90.3	77.4	92.5	91.1	105.5	113.2	101.6	125.6
	対前年増減率%	△ 12.4	△ 22.6	11.9	△ 10.5	△ 6.9	△ 15.9	6.7	△ 2.9	△ 11.6	△ 14.3	19.5	△ 1.5	2.5	7.3	△ 10.2	23.6
非鉄金属工業	指 数	108.2	104.4	112.8	100.3	104.0	100.9	108.3	98.0	101.8	90.3	101.0	107.1	101.9	110.4	98.9	116.9
	対前年増減率%	△ 4.5	△ 3.5	8.0	△ 11.1	△ 4.1	△ 3.0	7.3	△ 9.5	△ 8.9	△ 11.3	11.8	6.0	6.9	8.3	△ 10.4	18.2
金属製品工業	指 数	85.4	76.8	80.8	82.7	83.4	72.5	77.9	76.8	50.0	47.5	45.7	51.7	60.2	72.9	67.7	70.7
	対前年増減率%	△ 2.4	△ 10.1	5.2	2.4	△ 3.6	△ 13.1	7.4	△ 1.4	△ 0.8	△ 5.0	△ 3.8	13.1	△ 11.5	21.1	△ 7.1	4.4
汎用機械工業	指 数	99.3	85.0	92.4	97.9	96.1	83.6	89.8	92.4	138.3	146.7	149.1	137.4	135.3	135.8	123.4	117.5
	対前年増減率%	△ 12.3	△ 14.4	8.7	6.0	△ 11.3	△ 13.0	7.4	2.9	5.3	6.1	1.6	△ 7.8	31.0	0.4	△ 9.1	△ 4.8
生産用機械工業	指 数	91.4	88.9	100.1	128.3	88.9	84.3	90.7	118.6	63.3	62.4	83.4	86.9	120.2	111.3	70.8	68.8
	対前年増減率%	△ 1.6	△ 2.7	12.6	28.2	△ 1.0	△ 5.2	7.6	30.8	△ 40.7	△ 1.4	33.7	4.2	△ 24.7	△ 7.4	△ 36.4	△ 2.8
業務用機械工業	指 数	104.8	84.6	95.9	81.6	111.9	98.3	108.3	97.7	126.0	83.1	83.9	110.2	118.4	117.8	127.2	120.2
	対前年増減率%	△ 2.5	△ 19.3	13.4	△ 14.9	0.9	△ 12.2	10.2	△ 9.8	24.1	△ 34.0	1.0	31.3	△ 6.3	△ 0.5	8.0	△ 5.5
電子部品・デバイス工業	指 数	99.4	90.7	107.1	103.2	99.9	89.6	101.7	98.9	X	X	X	X	X	X	X	X
	対前年増減率%	△ 3.9	△ 8.8	18.1	△ 3.6	△ 3.4	△ 10.3	13.5	△ 2.8	X	X	X	X	X	X	X	X
電気機械工業	指 数	110.0	94.7	93.5	93.0	110.6	100.2	101.9	98.2	351.4	121.7	102.9	156.7	120.0	227.7	114.1	108.3
	対前年増減率%	△ 6.6	△ 13.9	△ 1.3	△ 0.5	△ 13.9	△ 9.4	1.7	△ 3.6	190.7	△ 65.4	△ 15.4	52.3	9.7	89.8	△ 49.9	△ 5.1
情報通信機械工業	指 数	82.9	79.3	73.5	62.9	77.4	74.2	68.9	58.1	X	X	X	X	X	X	X	X
	対前年増減率%	1.7	△ 4.3	△ 7.3	△ 14.4	0.4	△ 4.1	△ 7.1	△ 15.7	X	X	X	X	X	X	X	X
輸送機械工業	指 数	101.0	70.0	80.4	87.2	101.9	69.8	82.0	91.0	80.6	78.1	162.0	118.8	91.3	123.1	147.4	175.8
	対前年増減率%	△ 8.4	△ 30.7	14.9	8.5	△ 10.4	△ 31.5	17.5	11.0	23.4	△ 3.1	107.4	△ 26.7	△ 6.9	34.8	19.7	19.3
窯業・土石製品工業	指 数	113.1	104.1	107.3	111.6	109.1	99.8	102.0	107.4	119.9	109.0	129.7	129.3	140.4	156.4	162.6	143.9
	対前年増減率%	△ 4.2	△ 8.0	3.1	4.0	△ 4.6	△ 8.5	2.2	5.3	0.2	△ 9.1	19.0	△ 0.3	16.2	11.4	4.0	△ 11.5
化学工業	指 数	107.3	94.0	101.3	99.7	105.8	92.6	100.0	96.6	125.4	109.6	122.9	138.8	144.9	154.4	124.4	148.0
	対前年増減率%	0.0	△ 12.4	7.8	△ 1.6	1.4	△ 12.5	8.0	△ 3.4	△ 1.0	△ 12.6	12.1	12.9	11.9	6.6	△ 19.4	19.0
石油・石炭製品工業	指 数	86.4	61.7	80.3	75.9	87.6	67.5	80.5	74.9	69.2	72.8	63.1	62.8	92.2	133.9	103.9	111.4
	対前年増減率%	0.0	△ 28.6	30.1	△ 5.5	1.2	△ 22.9	19.3	△ 7.0	△ 5.3	5.2	△ 13.3	△ 0.5	1.3	45.2	△ 22.4	7.2
プラスチック製品工業	指 数	105.1	91.1	106.7	110.6	105.8	93.6	108.4	112.5	128.8	118.9	114.4	106.0	117.4	133.4	106.1	101.1
	対前年増減率%	△ 7.0	△ 13.3	17.1	3.7	△ 6.2	△ 11.5	15.8	3.8	4.5	△ 7.7	△ 3.8	△ 7.3	10.2	13.6	△ 20.5	△ 4.7
紙・紙加工品工業	指 数	106.7	103.9	101.3	102.4	100.0	93.6	90.7	93.6	118.9	136.2	141.5	136.0	114.7	155.3	166.5	155.0
	対前年増減率%	1.4	△ 2.6	△ 2.5	1.1	△ 4.2	△ 6.4	△ 3.1	3.2	27.0	14.6	3.9	△ 3.9	△ 3.5	35.4	7.2	△ 6.9
繊維工業	指 数	95.1	92.1	97.0	82.3	94.7	92.0	95.5	86.8	114.1	106.6	130.2	113.4	133.4	143.1	114.7	176.1
	対前年増減率%	△ 3.3	△ 3.2	5.3	△ 15.2	△ 3.4	△ 2.9	3.8	△ 9.1	18.5	△ 6.6	22.1	△ 12.9	21.1	7.3	△ 19.8	53.5
食料品・飲料工業	指 数	107.1	101.9	100.4	99.7	105.6	100.9	100.0	100.3	89.1	96.3	85.6	99.3	104.0	105.6	102.1	107.2
	対前年増減率%	1.6	△ 4.9	△ 1.5	△ 0.7	0.7	△ 4.5	△ 0.9	0.3	△ 13.7	8.1	△ 11.1	16.0	0.9	1.5	△ 3.3	5.0
ゴム製品工業	指 数	69.9	58.3	63.1	58.5	71.7	62.2	66.4	65.8	99.2	87.7	91.3	88.5	158.1	180.6	180.1	200.3
	対前年増減率%	△ 7.2	△ 16.6	8.2	△ 7.3	△ 6.4	△ 13.2	6.8	△ 0.9	21.9	△ 11.6	4.1	△ 3.1	39.3	14.2	△ 0.3	11.2
家具工業	指 数	111.4	95.4	91.8	86.8	120.8	103.4	98.5	92.8	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年増減率%	△ 1.2	△ 14.4	△ 3.8	△ 5.4	3.1	△ 14.4	△ 4.7	△ 5.8	-	-	-	-	-	-	-	-
印刷業	指 数	90.3	75.2	77.5	73.0	89.3	73.5	75.4	71.1	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年増減率%	△ 4.4	△ 16.7	3.1	△ 5.8	△ 4.6	△ 17.7	2.6	△ 5.7	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考)機械工業	指 数	97.3	80.7	87.9	94.2	97.5	77.4	85.4	92.6	148.1	101.5	129.8	127.6	115.5	150.4	127.1	153.5
	対前年増減率%	△ 6.1	△ 17.1	8.9	7.2	△ 8.4	△ 20.6	10.3	8.4	46.9	△ 31.5	27.9	△ 1.7	2.7	30.2	△ 15.5	20.8

\*生産・出荷・在庫率は年平均(年平均比)、在庫は年末(年末比)

\*機械工業は参考系列(P82 業種分類参照)

表 4

## 2022年業種別四半期指数・対前期増減率

(2015年=100 季節調整済指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
製 造 工 業	指 数	90.0	93.8	98.7	97.3	87.4	89.7	93.7	93.2	116.0	110.1	113.5	114.5	133.3	127.5	132.6	141.3
	対前期増減率%	△ 2.7	4.2	5.2	△ 1.4	△ 1.0	2.6	4.5	△ 0.5	5.8	△ 5.1	3.1	0.9	13.0	△ 4.4	4.0	6.6
鉄 鋼 業	指 数	66.7	64.5	63.1	65.7	82.5	86.1	78.1	76.3	98.5	88.4	91.2	90.6	120.8	120.8	125.1	136.2
	対前期増減率%	△ 7.0	△ 3.3	△ 2.2	4.1	4.2	4.4	△ 9.3	△ 2.3	7.5	△ 10.3	3.2	△ 0.7	14.2	0.0	3.6	8.9
非鉄金属工業	指 数	107.6	103.9	94.5	95.2	103.5	100.2	95.5	93.4	104.3	118.9	100.3	106.1	114.3	114.3	114.6	124.2
	対前期増減率%	△ 5.3	△ 3.4	△ 9.0	0.7	△ 3.5	△ 3.2	△ 4.7	△ 2.2	4.5	14.0	△ 15.6	5.8	7.2	0.0	0.3	8.4
金属製品工業	指 数	74.7	86.6	85.7	85.2	74.3	78.4	78.5	76.4	49.3	49.9	49.3	54.4	72.3	67.5	66.4	77.2
	対前期増減率%	1.5	15.9	△ 1.0	△ 0.6	2.8	5.5	0.1	△ 2.7	4.9	1.2	△ 1.2	10.3	6.0	△ 6.6	△ 1.6	16.3
汎用機械工業	指 数	90.8	93.1	101.9	107.0	86.6	86.8	96.0	100.7	119.0	120.4	132.9	137.0	130.5	113.5	109.4	114.3
	対前期増減率%	△ 1.5	2.5	9.5	5.0	0.2	0.2	10.6	4.9	△ 21.5	1.2	10.4	3.1	9.7	△ 13.0	△ 3.6	4.5
生産用機械工業	指 数	108.8	129.7	159.0	122.3	101.9	112.8	161.8	104.4	67.2	78.3	67.6	78.6	72.8	70.2	63.9	66.5
	対前期増減率%	△ 3.3	19.2	22.6	△ 23.1	4.2	10.7	43.4	△ 35.5	△ 13.0	16.5	△ 13.7	16.3	△ 5.9	△ 3.6	△ 9.0	4.1
業務用機械工業	指 数	100.4	76.5	76.1	73.7	106.6	95.0	96.4	92.8	91.4	93.5	102.1	114.1	117.7	118.9	119.7	121.9
	対前期増減率%	10.2	△ 23.8	△ 0.5	△ 3.2	△ 0.3	△ 10.9	1.5	△ 3.7	1.8	2.3	9.2	11.8	21.0	1.0	0.7	1.8
電子部品・ デバイス工業	指 数	104.4	102.8	103.3	102.6	100.3	101.7	100.3	94.1	X	X	X	X	X	X	X	X
	対前期増減率%	0.5	△ 1.5	0.5	△ 0.7	3.2	1.4	△ 1.4	△ 6.2	X	X	X	X	X	X	X	X
電気機械工業	指 数	88.7	94.5	92.6	97.8	91.1	107.5	92.7	102.6	164.5	138.5	151.5	179.2	128.8	96.1	110.4	111.5
	対前期増減率%	△ 0.7	6.5	△ 2.0	5.6	△ 9.8	18.0	△ 13.8	10.7	44.0	△ 15.8	9.4	18.3	64.9	△ 25.4	14.9	1.0
情報通信 機械工業	指 数	59.6	61.5	68.3	66.3	56.6	58.1	60.3	60.6	X	X	X	X	X	X	X	X
	対前期増減率%	△ 10.9	3.2	11.1	△ 2.9	△ 6.8	2.7	3.8	0.5	X	X	X	X	X	X	X	X
輸送機械工業	指 数	78.4	79.8	91.5	99.4	80.9	85.0	94.4	104.9	198.1	144.5	175.1	126.3	202.8	163.8	182.5	163.3
	対前期増減率%	1.4	1.8	14.7	8.6	0.7	5.1	11.1	11.1	23.6	△ 27.1	21.2	△ 27.9	20.6	△ 19.2	11.4	△ 10.5
窯業・土石 製品工業	指 数	109.7	110.7	112.8	113.8	105.8	107.3	109.2	108.0	136.9	137.0	132.9	135.7	147.1	147.7	133.7	147.2
	対前期増減率%	6.5	0.9	1.9	0.9	5.5	1.4	1.8	△ 1.1	△ 0.4	0.1	△ 3.0	2.1	△ 19.1	0.4	△ 9.5	10.1
化学工業	指 数	97.5	98.9	103.1	99.7	97.1	96.1	97.8	95.8	130.1	128.4	136.7	144.8	141.3	142.5	144.8	165.7
	対前期増減率%	△ 6.6	1.4	4.2	△ 3.3	△ 4.1	△ 1.0	1.8	△ 2.0	△ 0.5	△ 1.3	6.5	5.9	10.2	0.8	1.6	14.4
石油・石炭 製品工業	指 数	79.5	81.7	72.6	70.3	79.4	75.5	73.5	71.3	59.9	63.3	64.2	63.5	98.2	114.7	111.6	124.4
	対前期増減率%	△ 4.9	2.8	△ 11.1	△ 3.2	△ 3.2	△ 4.9	△ 2.6	△ 3.0	△ 8.3	5.7	1.4	△ 1.1	4.0	16.8	△ 2.7	11.5
プラスチック 製品工業	指 数	108.5	106.6	114.4	113.3	110.6	109.8	115.6	114.3	119.0	113.5	107.8	108.1	109.4	102.4	97.2	94.9
	対前期増減率%	△ 1.2	△ 1.8	7.3	△ 1.0	△ 0.4	△ 0.7	5.3	△ 1.1	2.9	△ 4.6	△ 5.0	0.3	4.0	△ 6.4	△ 5.1	△ 2.4
紙・紙加工品 工業	指 数	102.5	104.0	102.5	101.6	99.0	95.0	92.2	89.5	136.6	137.8	143.5	146.9	140.1	147.4	153.3	177.4
	対前期増減率%	1.4	1.5	△ 1.4	△ 0.9	6.6	△ 4.0	△ 2.9	△ 2.9	△ 11.6	0.9	4.1	2.4	△ 9.9	5.2	4.0	15.7
繊維工業	指 数	86.9	83.7	79.7	78.9	87.4	80.5	87.1	90.2	125.1	140.8	126.0	114.6	163.4	192.4	161.2	186.6
	対前期増減率%	△ 6.4	△ 3.7	△ 4.8	△ 1.0	△ 0.2	△ 7.9	8.2	3.6	△ 1.9	12.5	△ 10.5	△ 9.0	5.8	17.7	△ 16.2	15.8
食料品・ 飲料工業	指 数	98.0	101.1	99.7	100.0	99.0	101.4	100.4	100.2	106.0	107.2	97.1	106.8	102.4	107.0	111.4	108.2
	対前期増減率%	0.4	3.2	△ 1.4	0.3	0.5	2.4	△ 1.0	△ 0.2	16.6	1.1	△ 9.4	10.0	5.7	4.5	4.1	△ 2.9
ゴム製品 工業	指 数	57.9	58.0	60.5	58.5	58.4	67.6	66.9	70.2	108.6	102.6	105.5	99.2	221.6	200.5	201.9	173.3
	対前期増減率%	△ 0.9	0.2	4.3	△ 3.3	△ 8.8	15.8	△ 1.0	4.9	9.1	△ 5.5	2.8	△ 6.0	18.2	△ 9.5	0.7	△ 14.2
家具工業	指 数	85.9	84.7	85.4	90.8	90.3	91.2	91.3	97.8	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	△ 10.1	△ 1.4	0.8	6.3	△ 12.9	1.0	0.1	7.1	-	-	-	-	-	-	-	-
印刷業	指 数	75.4	76.4	73.6	66.9	72.9	74.3	72.1	65.6	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	△ 5.9	1.3	△ 3.7	△ 9.1	△ 6.2	1.9	△ 3.0	△ 9.0	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 機械工業	指 数	86.4	91.4	101.4	99.6	84.2	89.2	98.9	99.8	154.4	129.6	137.2	132.4	168.3	142.8	152.0	154.1
	対前期増減率%	△ 2.8	5.8	10.9	△ 1.8	△ 1.1	5.9	10.9	0.9	18.3	△ 16.1	5.9	△ 3.5	27.1	△ 15.2	6.4	1.4

\*生産・出荷・在庫率は3か月平均(3か月平均比)、在庫は期末(期末比)

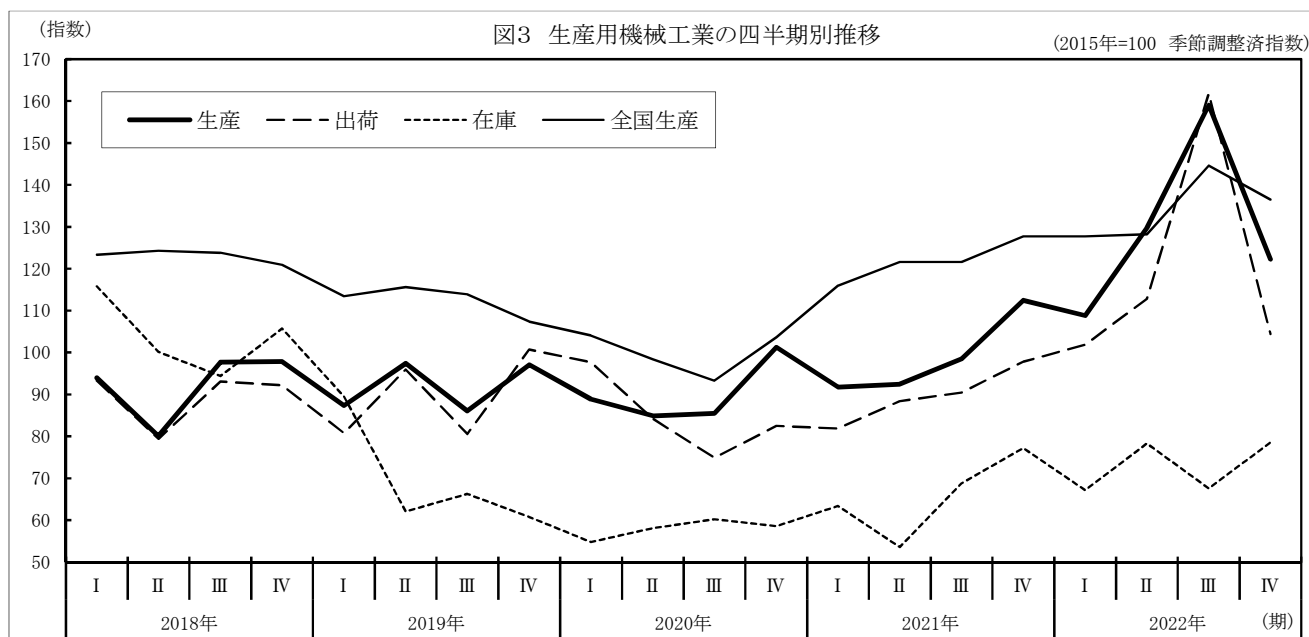
\*機械工業は参考系列(P82 業種分類参照)

## 2 各業種の動向

### (1) 主要業種の動向

#### <生産用機械工業>

#### —生産、出荷とも2年連続して上昇—



#### <生産>

生産指数(原指数)は、128.3で前年比28.2%上昇し、2年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比3.3%低下、II期は同19.2%上昇、III期も同22.6%上昇、IV期は同23.1%低下しました。

品目別にみると、半導体製造装置やプラスチック加工機械などが増加し、ダイヤモンド工具などが減少しました。

また、全国の生産用機械工業の生産指数(原指数)は、134.0で前年比10.2%上昇し、2年連続して上昇しました。

#### <出荷>

出荷指数(原指数)は、118.6で前年比30.8%上昇し、2年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比4.2%上昇、II期も同10.7%上昇、III期も同43.4%上昇、IV期は同35.5%低下しました。

品目別にみると、フラットパネル・ディスプレイ製造装置や半導体製造装置などが増加し、食料品加工機械などが減少しました。

#### <在庫>

在庫指数(原指数)は、86.9で前年末比4.2%上昇し、2年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比13.0%低下、II期は同16.5%上昇、III期は同13.7%低下、IV期は同16.3%上昇しました。

品目別にみると、数値制御放電加工機や収穫調整用機器などが増加し、ダイヤモンド工具などが減少しました。

表5 生産用機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

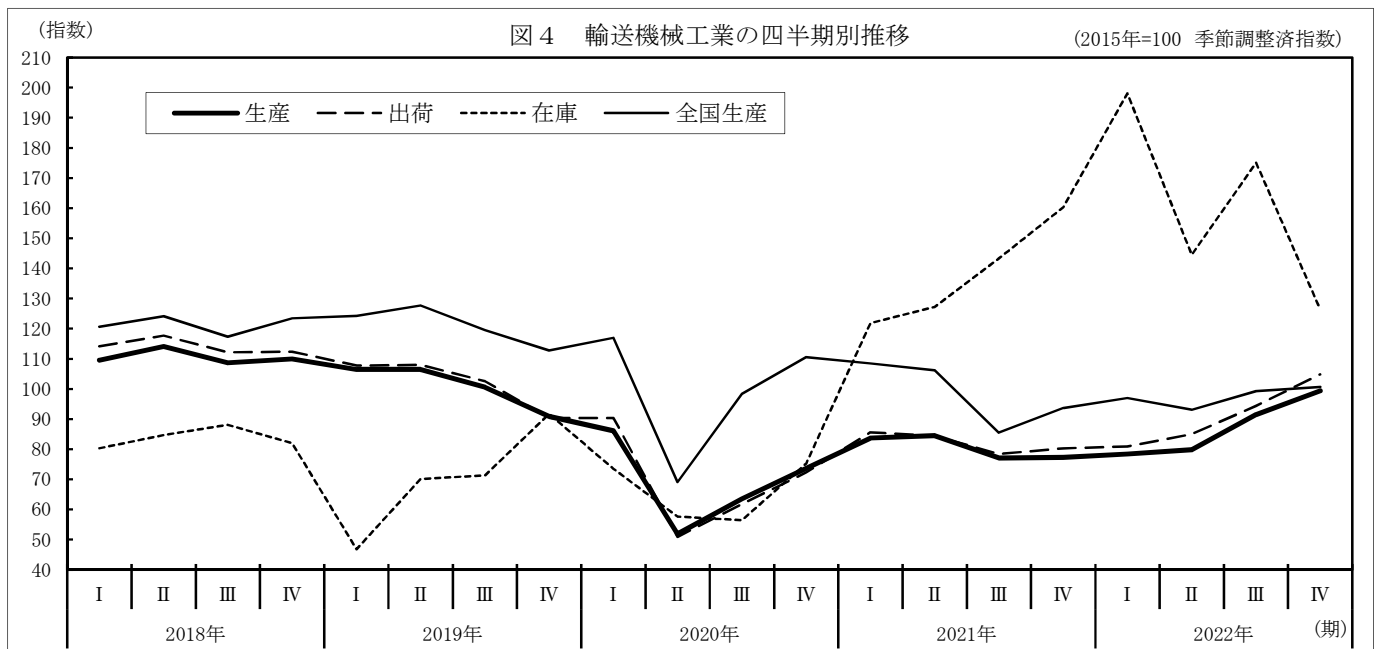
		2021年		2022年				上昇又は低下に寄与した主な品目
		指数	増減率%	I	II	III	IV	
生産	指数	100.1	128.3	108.8	129.7	159.0	122.3	増 半導体製造装置、プラスチック加工機械、フラットパネル・ディスプレイ製造装置など 減 ダイヤモンド工具、食料品加工機械、機械プレスなど
	対前年(期)増減率%	12.6	28.2	△ 3.3	19.2	22.6	△ 23.1	
出荷	指数	90.7	118.6	101.9	112.8	161.8	104.4	増 フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置、プラスチック加工機械など 減 食料品加工機械、ダイヤモンド工具、機械プレスなど
	対前年(期)増減率%	7.6	30.8	4.2	10.7	43.4	△ 35.5	
在庫	指数	83.4	86.9	67.2	78.3	67.6	78.6	増 数値制御放電加工機、収穫調整用機器、マシニングセンタ 減 ダイヤモンド工具、特殊鋼切削工具、C(W)BN工具
	対前年(期)末増減率%	33.7	4.2	△ 13.0	16.5	△ 13.7	16.3	

\*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

\*品目順は寄与度順に列記

＜輸送機械工業＞

－生産、出荷とも2年連続して上昇－



＜生産＞

生産指数(原指数)は、87.2で前年比8.5%上昇し、2年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比1.4%上昇、II期も同1.8%上昇、III期も同14.7%上昇、IV期も同8.6%上昇しました。

品目別にみると、小型乗用車やエンジン(自動車用)などが増加し、小型トラックなどが減少しました。

また、全国の輸送機械工業の生産指数(原指数)は、97.6で前年比0.8%低下し、5年連続して低下しました。

＜出荷＞

出荷指数(原指数)は、91.0で前年比11.0%上昇し、2年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比0.7%上昇、II期も同5.1%上昇、III期も同11.1%上昇、IV期も同11.1%上昇しました。

品目別にみると、小型乗用車やエンジン(自動車用)などが増加し、小型トラックなどが減少しました。

＜在庫＞

在庫指数(原指数)は、118.8で前年末比26.7%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比23.6%上昇、II期は同27.1%低下、III期は同21.2%上昇、IV期は同27.9%低下しました。

品目別にみると、普通トラックや小型トラックが減少し、大型バスなどが増加しました。

表6 輸送機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		2021年	2022年				上昇又は低下に寄与した主な品目	
			I	II	III	IV		
生産	指数	80.4	87.2	78.4	79.8	91.5	99.4	増 小型乗用車、エンジン(自動車用)、普通トラックなど 減 小型トラック、特装ボデー、鉄道車両など
	対前年(期)増減率%	14.9	8.5	1.4	1.8	14.7	8.6	
出荷	指数	82.0	91.0	80.9	85.0	94.4	104.9	増 小型乗用車、エンジン(自動車用)、普通トラックなど 減 小型トラック、鉄道車両、特装ボデーなど
	対前年(期)増減率%	17.5	11.0	0.7	5.1	11.1	11.1	
在庫	指数	162.0	118.8	198.1	144.5	175.1	126.3	増 大型バス、けん引車、普通乗用車など 減 普通トラック、小型トラック
	対前年(期)末増減率%	107.4	△ 26.7	23.6	△ 27.1	21.2	△ 27.9	

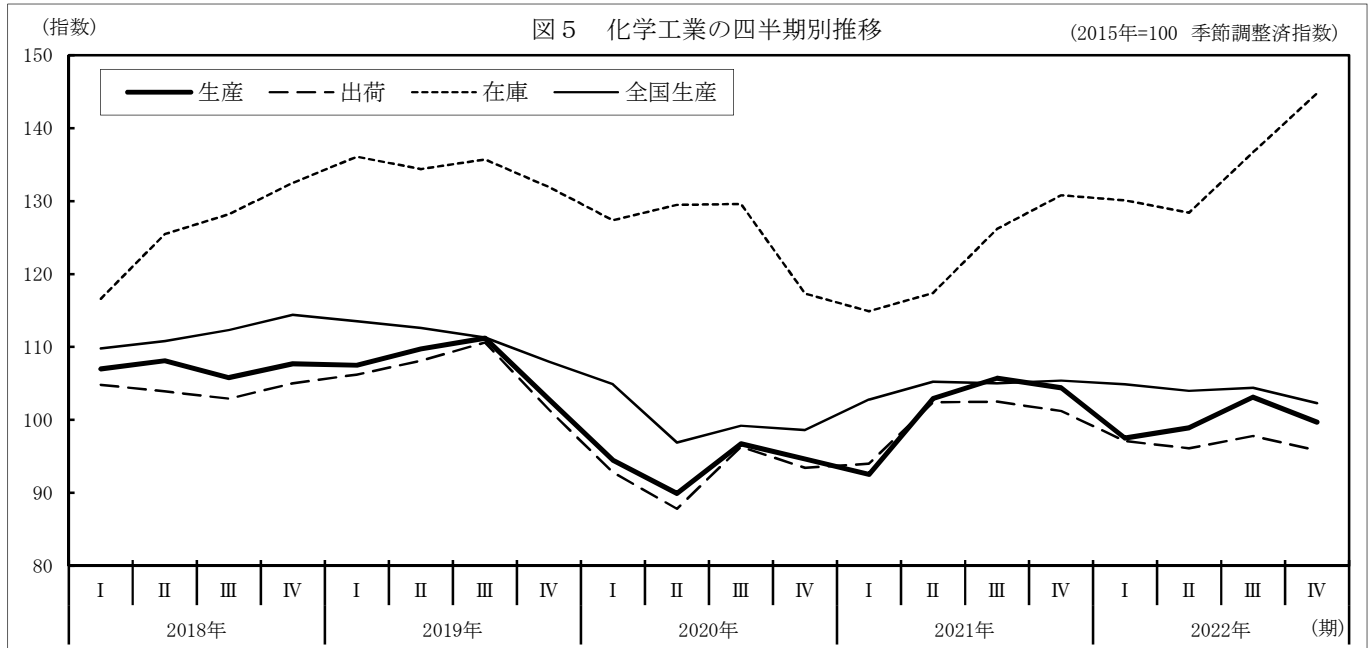
\*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

\*品目順は寄与度順に列記



<化学工業>

—生産、出荷とも2年ぶりの低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、99.7で前年比1.6%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比6.6%低下、II期は同1.4%上昇、III期も同4.2%上昇、IV期は同3.3%低下しました。

品目別にみると、酸化エチレンやプロピレンなどが減少し、医薬品などが増加しました。

また、全国の化学工業の生産指数(原指数)は、103.6で前年比0.9%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、96.6で前年比3.4%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比4.1%低下、II期も同1.0%低下、III期は同1.8%上昇、IV期は同2.0%低下しました。

品目別にみると、合成ゴムやプロピレンなどが減少し、医薬品などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、138.8で前年末比12.9%上昇し、2年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比0.5%低下、II期も同1.3%低下、III期は同6.5%上昇、IV期も同5.9%上昇しました。

品目別にみると、合成ゴムや合成洗剤などが増加し、身体用洗剤などが減少しました。

表7 化学工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

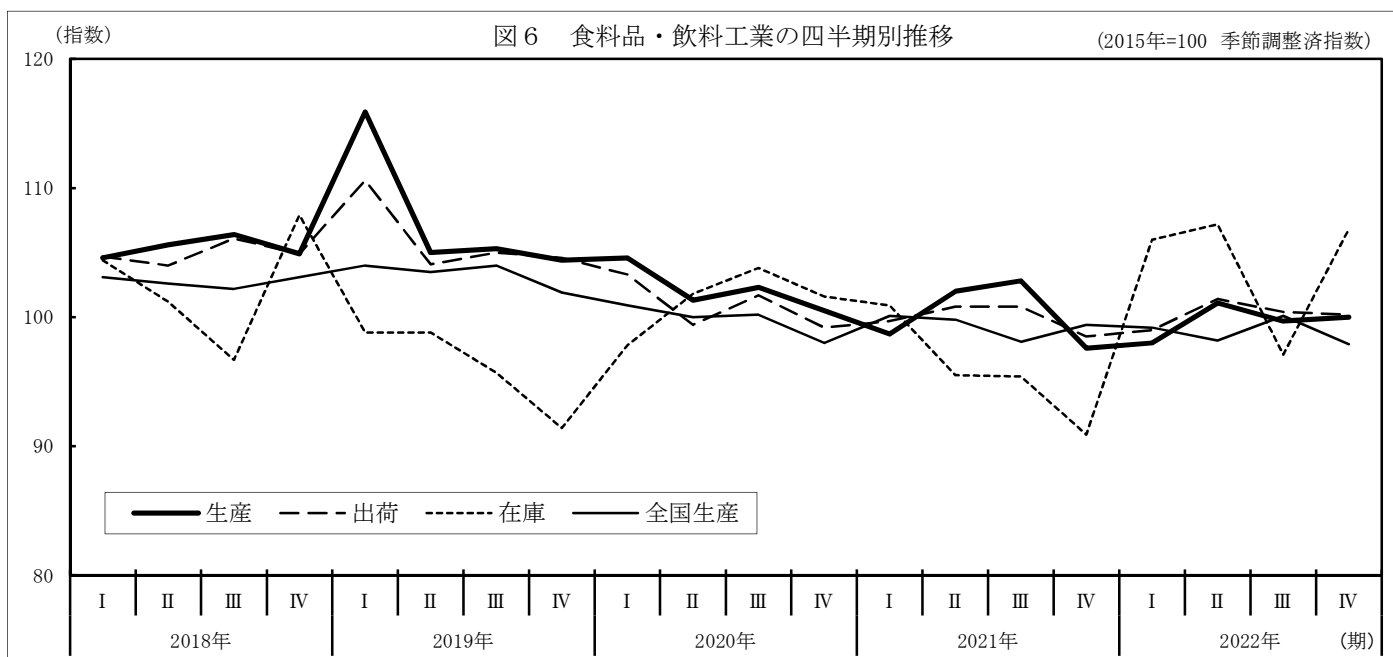
		2021年	2022年	2022年				上昇又は低下に寄与した主な品目	
				I	II	III	IV		
生産	指数	101.3	99.7	97.5	98.9	103.1	99.7	増	医薬品、化粧品、合成洗剤など
	対前年(期)増減率%	7.8	△1.6	△6.6	1.4	4.2	△3.3	減	酸化エチレン、プロピレン、エチレンなど
出荷	指数	100.0	96.6	97.1	96.1	97.8	95.8	増	医薬品、化粧品、合成洗剤など
	対前年(期)増減率%	8.0	△3.4	△4.1	△1.0	1.8	△2.0	減	合成ゴム、プロピレン、エチレンなど
在庫	指数	122.9	138.8	130.1	128.4	136.7	144.8	増	合成ゴム、合成洗剤、ポリプロピレングリコールなど
	対前年(期)末増減率%	12.1	12.9	△0.5	△1.3	6.5	5.9	減	身体用洗剤、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

\*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

\*品目順は寄与度順に列記

<食料品・飲料工業>

－生産は3年連続して低下、出荷は3年ぶりに上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、99.7で前年比0.7%低下し、3年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比0.4%上昇、II期も同3.2%上昇、III期は同1.4%低下、IV期は同0.3%上昇しました。

品目別にみると、その他の調味料や冷凍調理食品などが減少し、肉製品などが増加しました。

また、全国の食料品・たばこ工業の生産指数(原指数)は、98.7で前年比0.7%低下し、3年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、100.3で前年比0.3%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比0.5%上昇、II期も同2.4%上昇、III期は同1.0%の低下、IV期も同0.2%低下しました。

品目別にみると、肉製品やビール・発泡酒などが増加し、その他の調味料などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、99.3で前年末比16.0%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比16.6%上昇、II期も同1.1%上昇、III期は同9.4%低下、IV期は同10.0%上昇しました。

品目別にみると、チョコレートや焼酎などが増加し、混合植物油脂などが減少しました。

表8 食料品・飲料工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		2021年		2022年				上昇又は低下に寄与した主な品目	
		指数	増減率%	I	II	III	IV		
生産	指数	100.4	99.7	98.0	101.1	99.7	100.0	増 減	肉製品、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、清涼飲料(炭酸飲料除く)など その他の調味料、冷凍調理食品、果実酒など
	対前年(期)増減率%	△1.5	△0.7	0.4	3.2	△1.4	0.3		
出荷	指数	100.0	100.3	99.0	101.4	100.4	100.2	増 減	肉製品、ビール・発泡酒、菓子パンなど その他の調味料、冷凍調理食品、チョコレートなど
	対前年(期)増減率%	△0.9	0.3	0.5	2.4	△1.0	△0.2		
在庫	指数	85.6	99.3	106.0	107.2	97.1	106.8	増 減	チョコレート、焼酎、ビール・発泡酒など 混合植物油脂、小麦粉
	対前年(期)末増減率%	△11.1	16.0	16.6	1.1	△9.4	10.0		

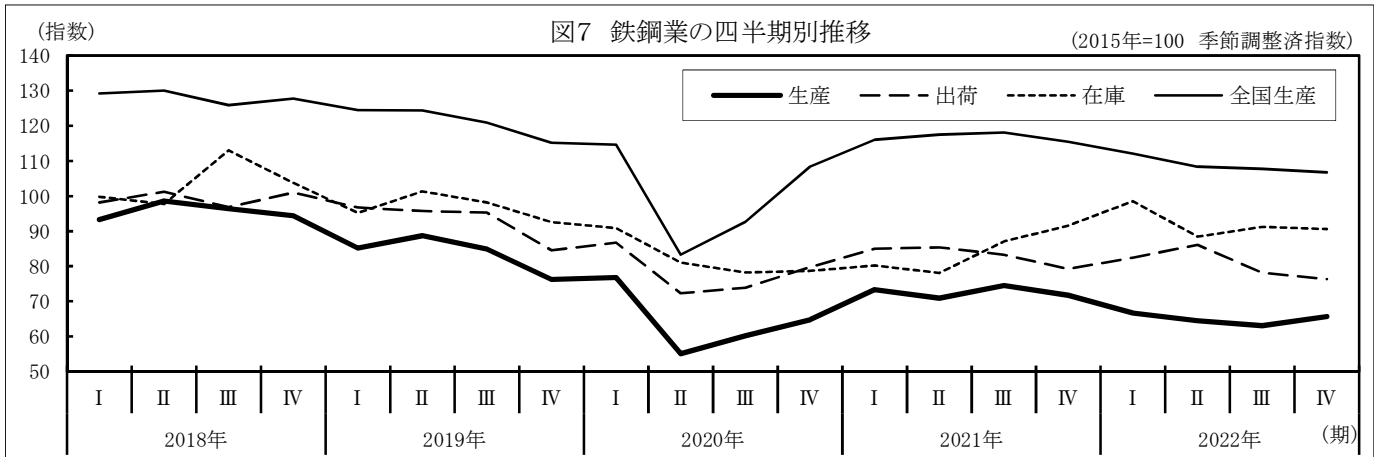
\*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

\*品目順は寄与度順に列記

## (2) その他の業種の動向

### <鉄鋼業>

#### －生産、出荷とも2年ぶりの低下－



#### <生産>

生産指数(原指数)は、64.9で前年比10.5%低下し、2年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、銑鉄鋳物や鉄系鍛工品などが減少し、鋳鋼・鍛鋼品などが増加しました。  
また、全国の鉄鋼業の生産指数(同)は、108.6で前年比6.9%低下し、2年ぶりに低下しました。

#### <出荷>

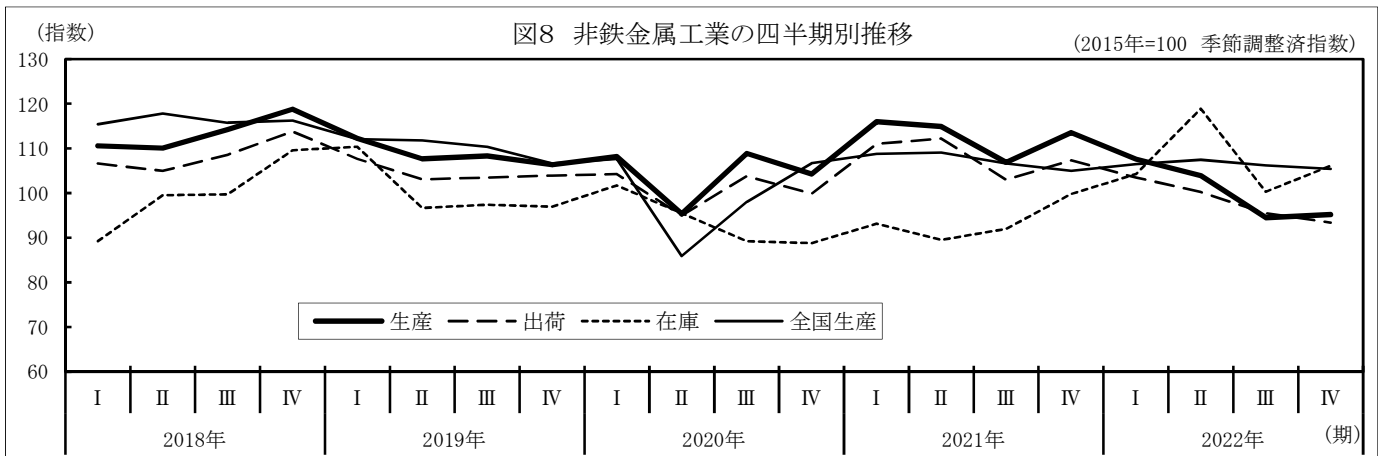
出荷指数(原指数)は、80.8で前年比2.9%低下し、2年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、普通鋼鋼帯や特殊鋼鋼管などが減少し、普通鋼鋼板などが増加しました。

#### <在庫>

在庫指数(原指数)は、91.1で前年末比1.5%低下し、2年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、普通鋼鋼板や特殊鋼鋼管などが減少し、特殊鋼熱間圧延鋼材などが増加しました。

### <非鉄金属工業>

#### －生産、出荷とも2年ぶりの低下－



#### <生産>

生産指数(原指数)は、100.3で前年比11.1%低下し、2年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、光ファイバ通信用ケーブルや伸銅製品などが減少し、光ファイバ心線などが増加しました。  
また、全国の非鉄金属工業の生産指数(同)は、106.2で前年比1.0%低下し、2年ぶりに低下しました。

#### <出荷>

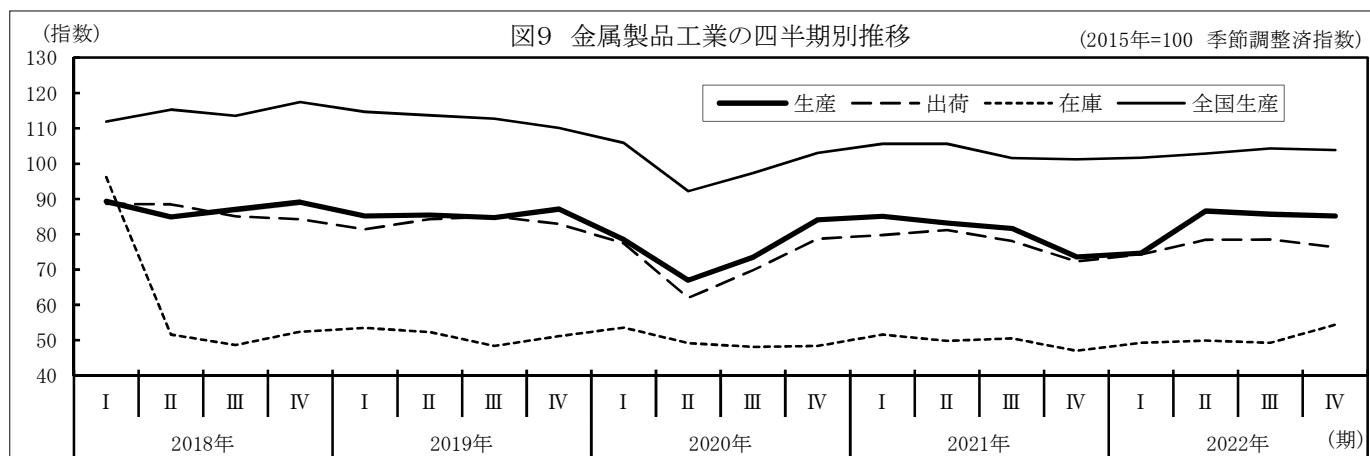
出荷指数(原指数)は、98.0で前年比9.5%低下し、2年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、光ファイバ通信用ケーブルや伸銅製品などが減少し、銅電線などが増加しました。

#### <在庫>

在庫指数(原指数)は、107.1で前年末比6.0%上昇し、2年連続して上昇しました。  
品目別にみると、伸銅製品や光ファイバ通信用ケーブルなどが増加し、銅電線が減少しました。

## <金属製品工業>

－生産は2年連続して上昇、出荷は2年ぶりの低下－



### <生産>

生産指数(原指数)は、82.7で前年比2.4%上昇し、2年連続して上昇しました。  
品目別にみると、ガス機器や超硬チップなどが増加し、スチール・ステンレス製建具などが減少しました。  
また、全国の金属製品工業の生産指数(同)は、103.0で前年比0.5%低下し、2年ぶりに低下しました。

### <出荷>

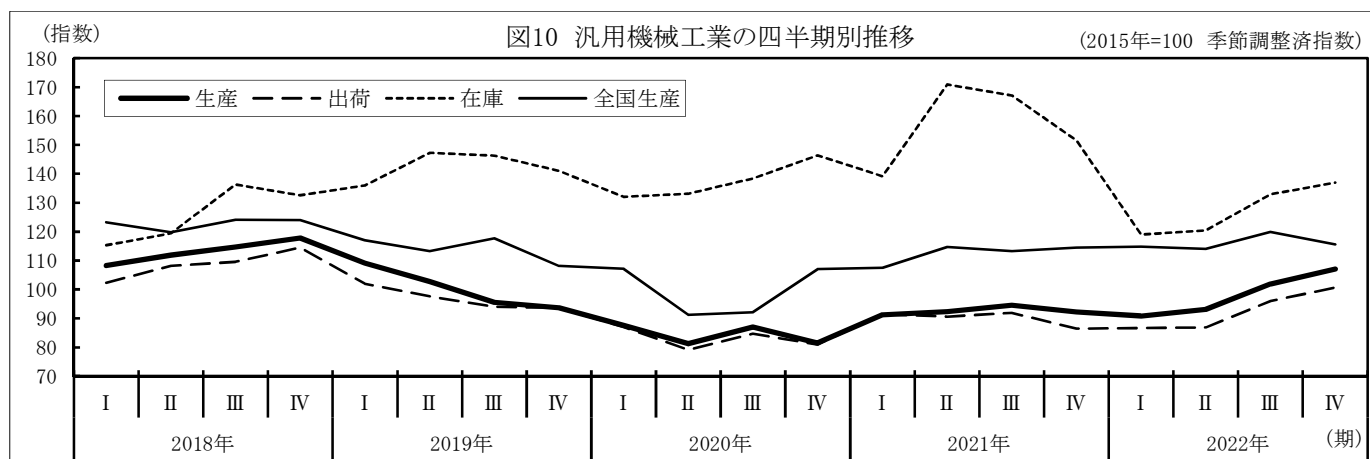
出荷指数(原指数)は、76.8で前年比1.4%低下し、2年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、飲料用アルミ缶や缶類などが減少し、ガス機器などが増加しました。

### <在庫>

在庫指数(原指数)は、51.7で前年末比13.1%上昇し、5年ぶりに上昇しました。  
品目別にみると、ばねやガス機器などが増加し、缶類が減少しました。

## <汎用機械工業>

－生産、出荷とも2年連続して上昇－



### <生産>

生産指数(原指数)は、97.9で前年比6.0%上昇し、2年連続して上昇しました。  
品目別にみると、蒸気タービン部品や真空ポンプなどが増加し、汎用内燃機関などが減少しました。  
また、全国の汎用機械工業の生産指数(同)は、115.8で前年比2.9%上昇し、2年連続して上昇しました。

### <出荷>

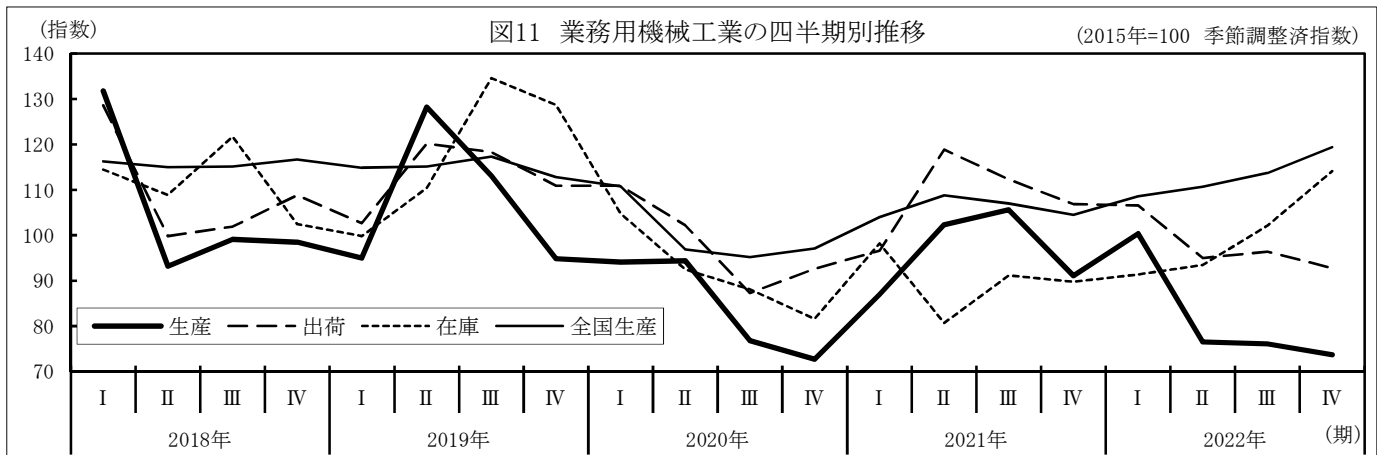
出荷指数(原指数)は、92.4で前年比2.9%上昇し、2年連続して上昇しました。  
品目別にみると、蒸気タービン部品や真空ポンプなどが増加し、汎用内燃機関などが減少しました。

### <在庫>

在庫指数(原指数)は、137.4で前年末比7.8%低下し、7年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、汎用内燃機関や真空ポンプなどが減少し、軸受などが増加しました。

## <業務用機械工業>

—生産、出荷とも2年ぶりの低下—



### <生産>

生産指数(原指数)は、81.6で前年比14.9%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、自動改札機・自動入場機や積算体積計などが減少し、工業用計重機などが増加しました。また、全国の業務用機械工業の生産指数(同)は、112.9で前年比6.5%上昇し、2年連続して上昇しました。

### <出荷>

出荷指数(原指数)は、97.7で前年比9.8%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、自動改札機・自動入場機や積算体積計などが減少し、工業用計重機などが増加しました。

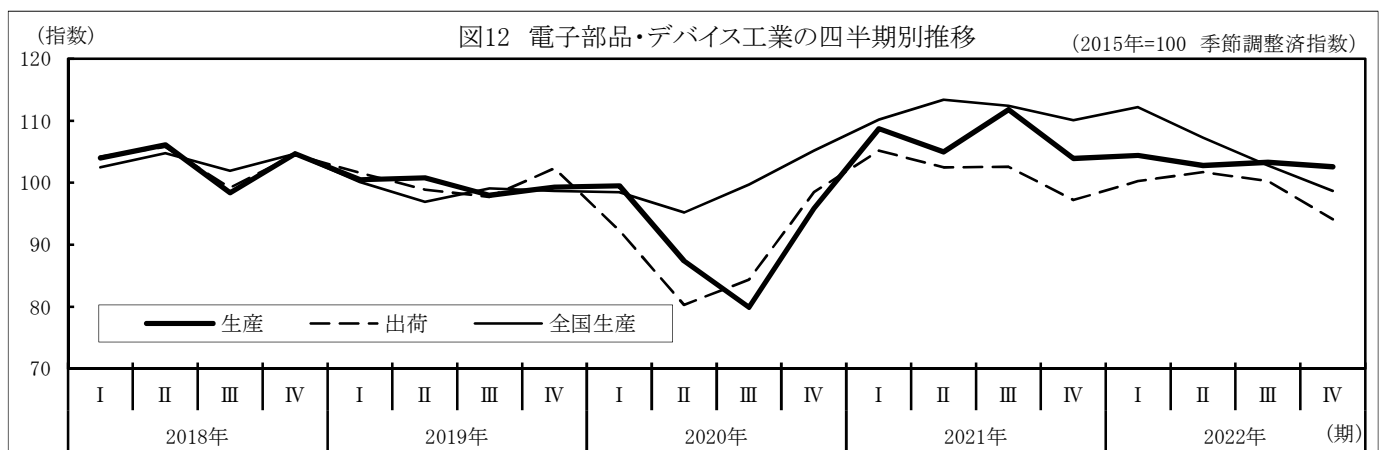
### <在庫>

在庫指数(原指数)は、110.2で前年末比31.3%上昇し、2年連続して上昇しました。

品目別にみると、工業用計重機や積算体積計などが増加しました。

## <電子部品・デバイス工業>

—生産、出荷とも2年ぶりの低下—



### <生産>

生産指数(原指数)は、103.2で前年比3.6%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、モス型半導体集積回路(CCD)や磁気テープなどが減少し、電子回路実装基板などが増加しました。

また、全国の電子部品・デバイス工業の生産指数(同)は、104.8で前年比5.9%低下し、3年ぶりに低下しました。

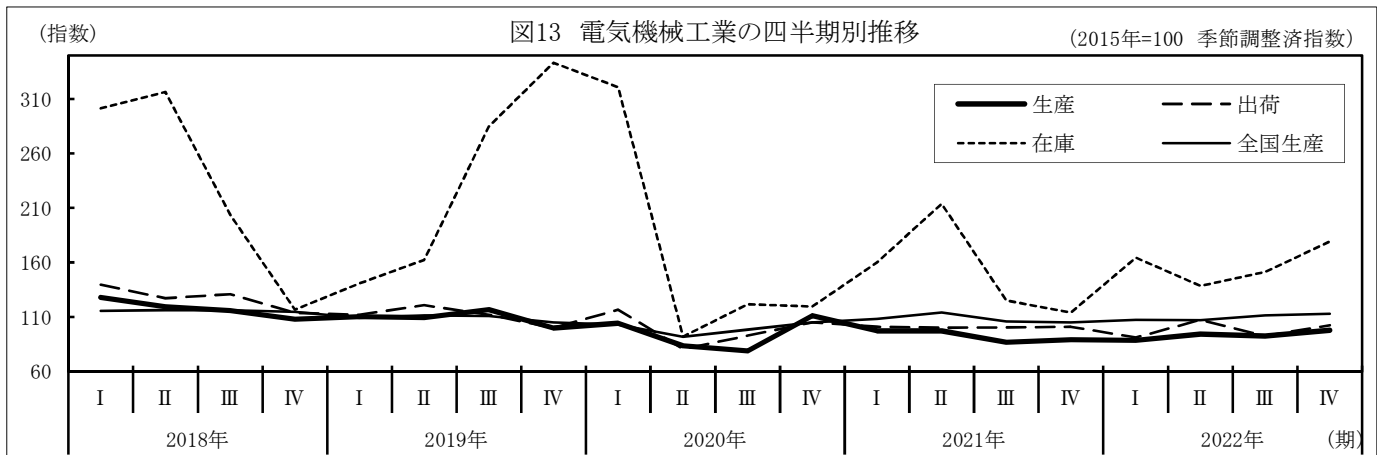
### <出荷>

出荷指数(原指数)は、98.9で前年比2.8%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、モス型半導体集積回路(CCD)やコネクタなどが減少し、電子回路実装基板などが増加しました。

## <電気機械工業>

－生産は4年連続の低下、出荷は2年ぶりの低下－



### <生産>

生産指数(原指数)は、93.0で前年比0.5%低下し、4年連続して低下しました。  
品目別にみると、リチウムイオン蓄電池や交流電動機などが減少し、自動車用照明器具などが増加しました。  
また、全国の電気機械工業の生産指数(同)は、109.5で前年比1.0%上昇し、2年連続して上昇しました。

### <出荷>

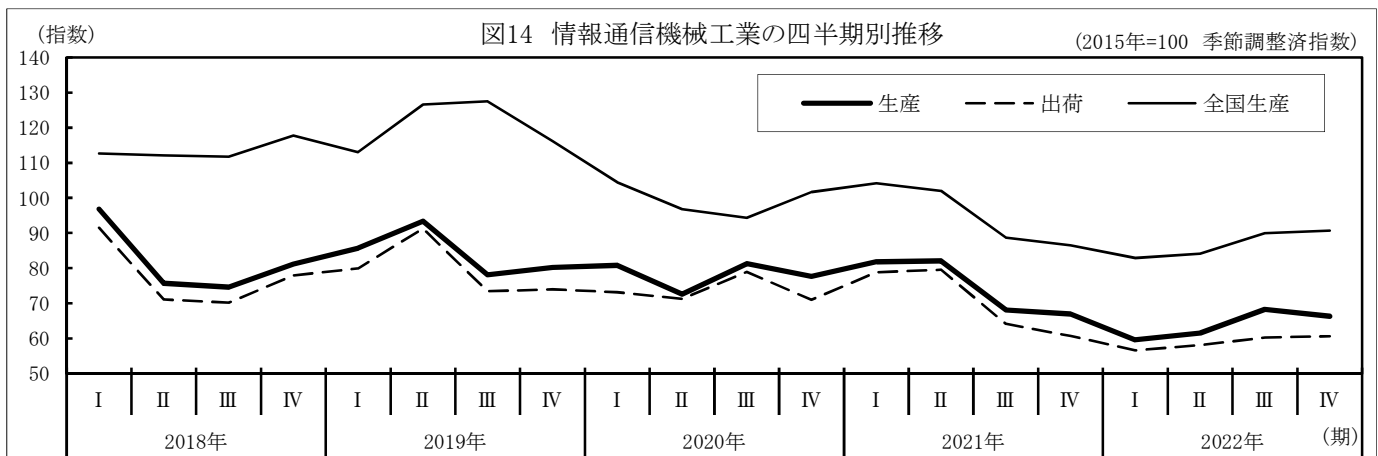
出荷指数(原指数)は、98.2で前年比3.6%低下し、2年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、リチウムイオン蓄電池や交流電動機などが減少し、自動車用照明器具などが増加しました。

### <在庫>

在庫指数(原指数)は、156.7で前年末比52.3%上昇し、3年ぶりに上昇しました。  
品目別にみると、リチウムイオン蓄電池や自動車用照明器具が増加し、換気扇や蛍光灯が減少しました。

## <情報通信機械工業>

－生産、出荷とも3年連続の低下－



### <生産>

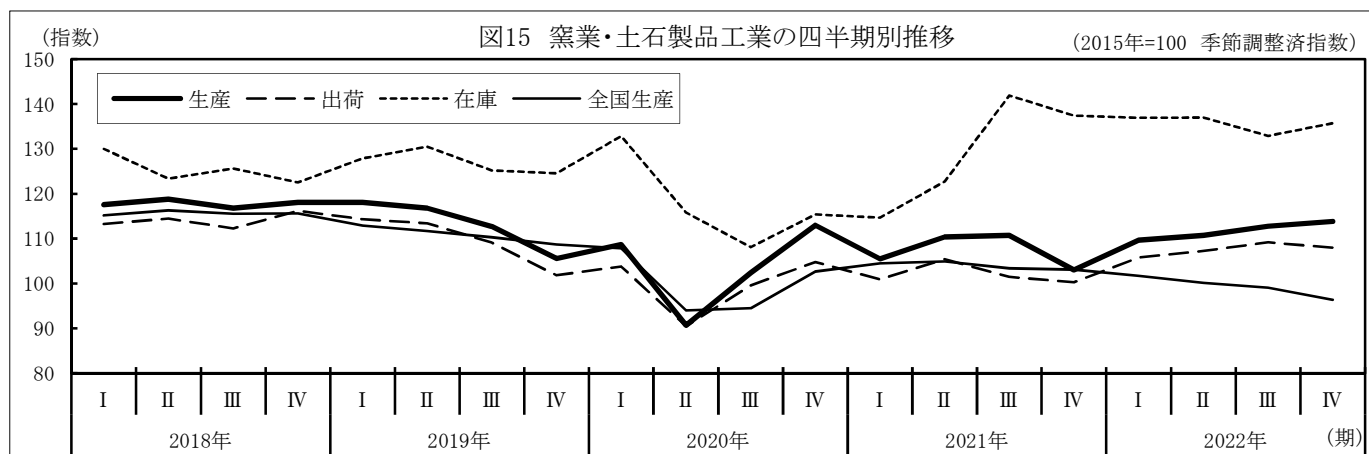
生産指数(原指数)は、62.9で前年比14.4%低下し、3年連続して低下しました。  
品目別にみると、無線応用装置や固定通信装置などが減少し、外部記憶装置が増加しました。  
また、全国の情報通信機械工業の生産指数(同)は、86.8で前年比8.8%低下し、3年連続して低下しました。

### <出荷>

出荷指数(原指数)は、58.1で前年比15.7%低下し、3年連続して低下しました。  
品目別にみると、無線応用装置や固定通信装置などが減少し、外部記憶装置が増加しました。

## <窯業・土石製品工業>

—生産、出荷とも2年連続して上昇—



### <生産>

生産指数(原指数)は、111.6で前年比4.0%上昇し、2年連続して上昇しました。

品目別にみると、安全ガラスやガラス製容器類などが増加し、生コンクリートなどが減少しました。

また、全国の窯業・土石製品工業の生産指数(同)は、99.2で前年比4.5%低下し、2年ぶりに低下しました。

### <出荷>

出荷指数(原指数)は、107.4で前年比5.3%上昇し、2年連続して上昇しました。

品目別にみると、安全ガラスやガラス製容器類などが増加し、生コンクリートなどが減少しました。

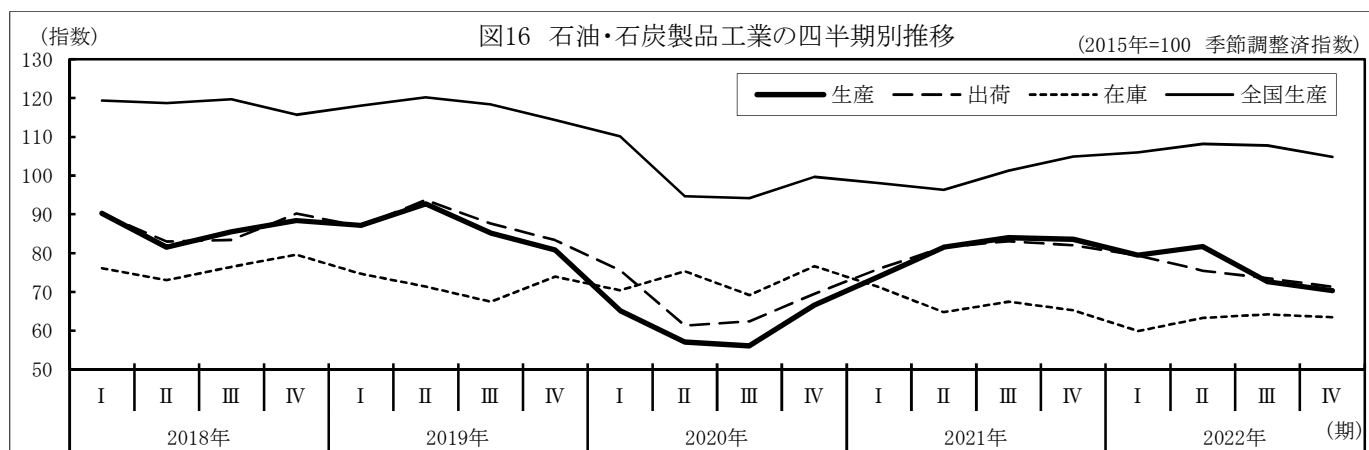
### <在庫>

在庫指数(原指数)は、129.3で前年末比0.3%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、板ガラスや安全ガラスなどが減少し、ガラス基礎製品などが増加しました。

## <石油・石炭製品工業>

—生産、出荷とも2年ぶりの低下—



### <生産>

生産指数(原指数)は、75.9で前年比5.5%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、ガソリンやナフサなどが減少し、精製及び混合原料油などが増加しました。

また、全国の石油・石炭製品工業の生産指数(同)は、106.6で前年比6.3%上昇し、2年連続して上昇しました。

### <出荷>

出荷指数(原指数)は、74.9で前年比7.0%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、ガソリンやナフサなどが減少し、精製及び混合原料油などが増加しました。

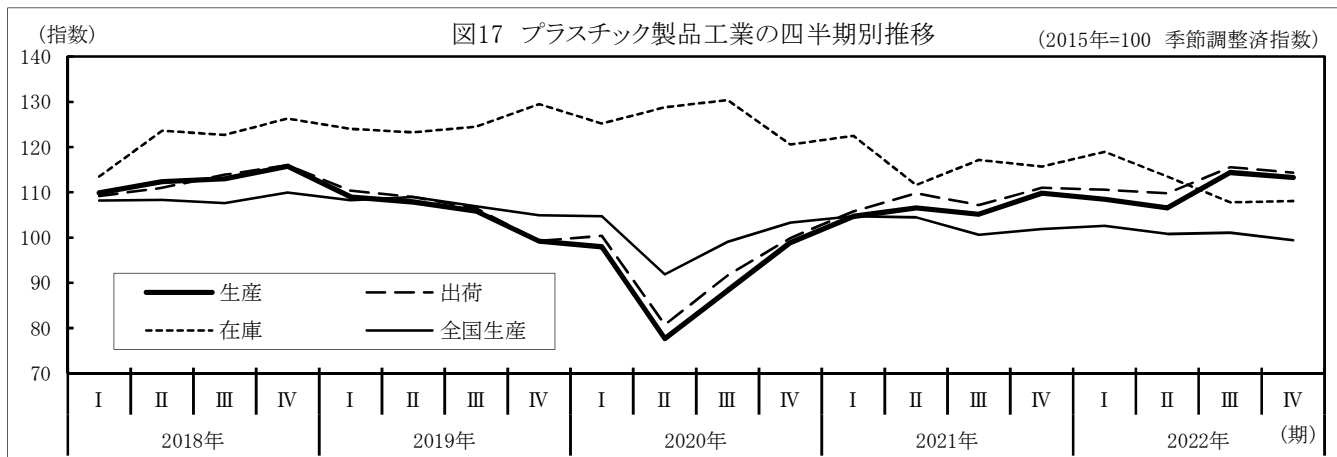
### <在庫>

在庫指数(原指数)は、62.8で前年末比0.5%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、灯油やB・C重油などが減少し、コークスなどが増加しました。

## <プラスチック製品工業>

—生産、出荷とも2年連続して上昇—



### <生産>

生産指数(原指数)は、110.6で前年比3.7%上昇し、2年連続して上昇しました。  
品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック建材が増加し、プラスチック製容器などが減少しました。  
また、全国のプラスチック製品工業の生産指数(同)は、100.8で前年比2.0%低下し、2年ぶりに低下しました。

### <出荷>

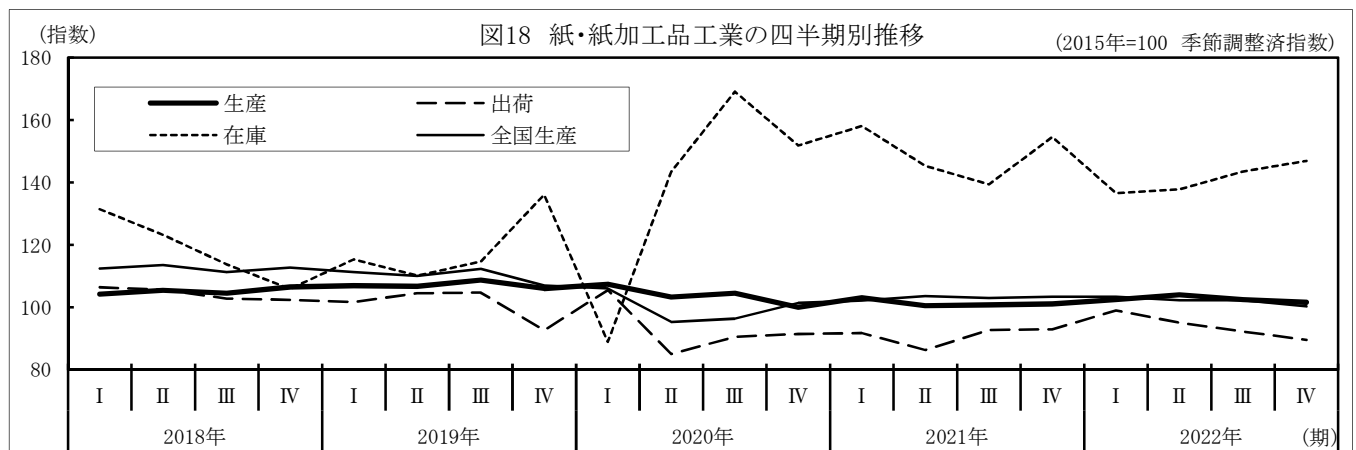
出荷指数(原指数)は、112.5で前年比3.8%上昇し、2年連続して上昇しました。  
品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製パイプなどが増加し、プラスチック製容器などが減少しました。

### <在庫>

在庫指数(原指数)は、106.0で前年末比7.3%低下し、3年連続して低下しました。  
品目別にみると、プラスチック製フィルム・シートや強化プラスチック製品などが減少し、プラスチック製機械器具部品が増加しました。

## <紙・紙加工品工業>

—生産は3年ぶりの上昇、出荷は4年ぶりの上昇—



### <生産>

生産指数(原指数)は、102.4で前年比1.1%上昇し、3年ぶりに上昇しました。  
品目別にみると、衛生用紙が増加し、段ボールシートが減少しました。  
また、全国のパルプ・紙・紙加工品工業の生産指数(同)は、101.9で前年比1.1%低下し、2年ぶりに低下しました。

### <出荷>

出荷指数(原指数)は、93.6で前年比3.2%上昇し、4年ぶりに上昇しました。  
品目別にみると、衛生用紙が増加し、段ボールシートが減少しました。

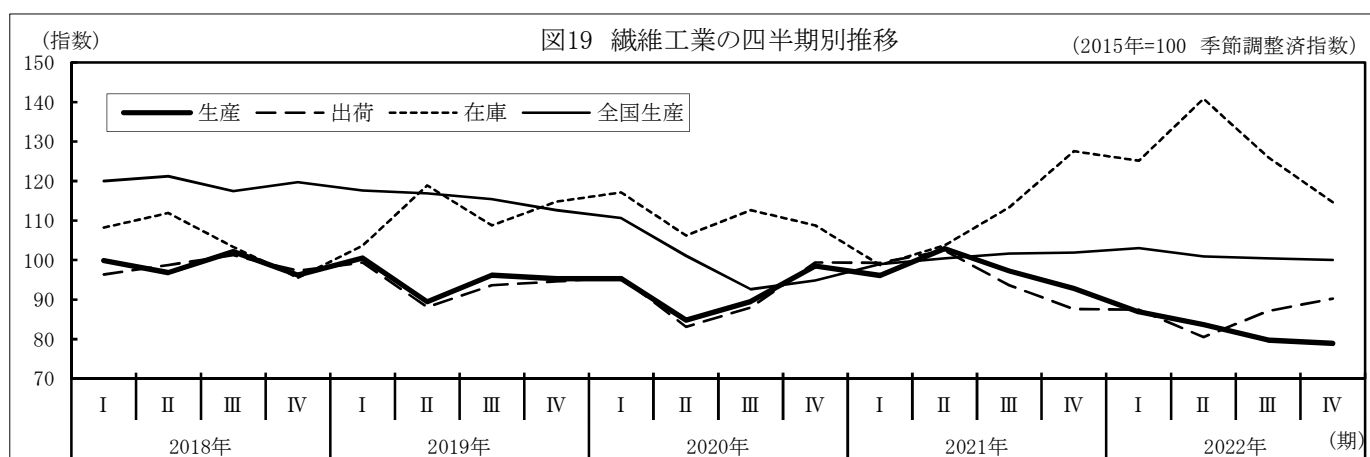
### <在庫>

在庫指数(原指数)は、136.0で前年末比3.9%低下し、4年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、衛生用紙や段ボールシートが減少しました。



## <繊維工業>

### －生産、出荷ともに2年ぶりの低下－



#### <生産>

生産指数(原指数)は、82.3で前年比15.2%低下し、2年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、合成繊維や不織布などが減少し、ニット・織物製外衣が増加しました。  
また、全国の繊維工業の生産指数(同)は、100.9で前年比0.3%上昇し、2年連続して上昇しました。

#### <出荷>

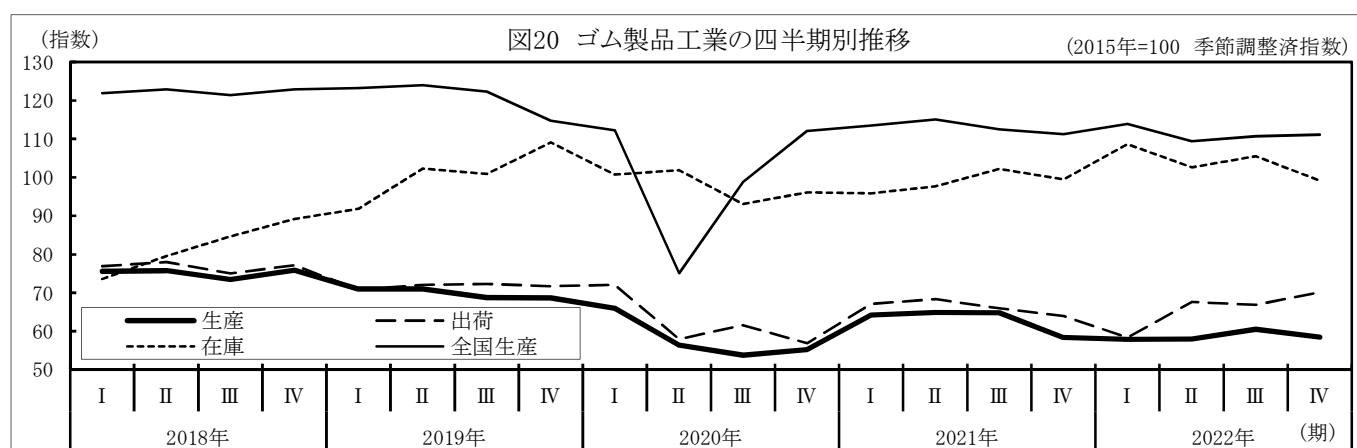
出荷指数(原指数)は、86.8で前年比9.1%低下し、2年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、合成繊維や不織布が減少し、ニット・織物製外衣などが増加しました。

#### <在庫>

在庫指数(原指数)は、113.4で前年末比12.9%低下し、2年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、合成繊維やふとんが減少し、不織布などが増加しました。

## <ゴム製品工業>

### －生産、出荷とも2年ぶりの低下－



#### <生産>

生産指数(原指数)は、58.5で前年比7.3%低下し、2年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、ゴムホースやコンベヤベルトなどが減少しました。  
また、全国のゴム製品工業の生産指数(同)は、111.2で前年比1.6%低下し、2年ぶりに低下しました。

#### <出荷>

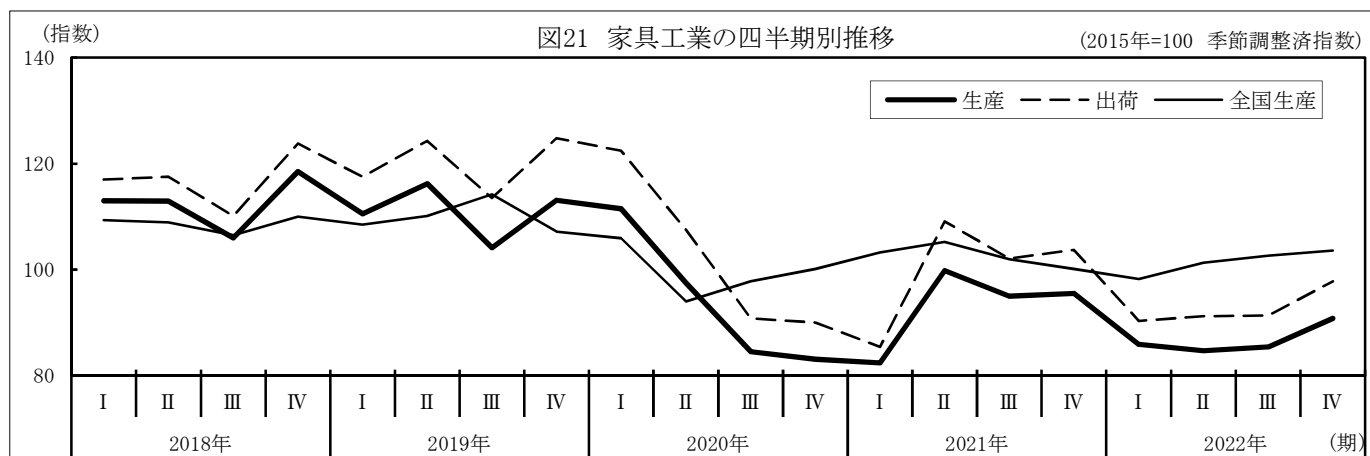
出荷指数(原指数)は、65.8で前年比0.9%低下し、2年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、ゴムホースや工業用ゴム製品が減少し、コンベヤベルトが増加しました。

#### <在庫>

在庫指数(原指数)は、88.5で前年末比3.1%低下し、2年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、工業用ゴム製品が減少し、コンベヤベルトなどが増加しました。

## <家具工業>

－生産は6年連続の低下、出荷は3年連続の低下－



### <生産>

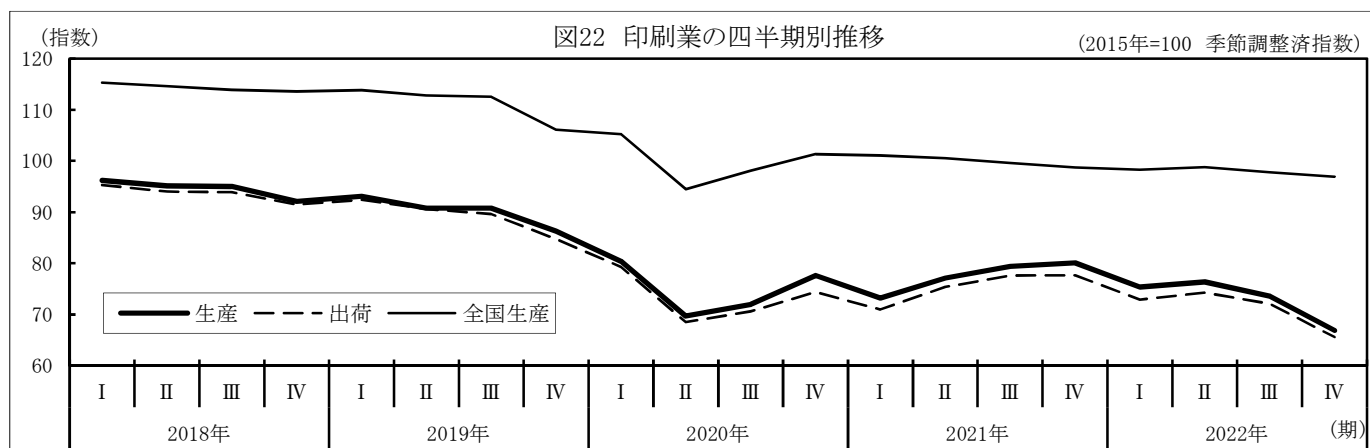
生産指数(原指数)は、86.8で前年比5.4%低下し、6年連続して低下しました。  
品目別にみると、金属製いすが減少し、その他の金属製家具などが増加しました。  
また、全国の家具工業の生産指数(同)は、101.1で前年比1.4%低下し、2年ぶりに低下しました。

### <出荷>

出荷指数(原指数)は、92.8で前年比5.8%低下し、3年連続して低下しました。  
品目別にみると、金属製いすが減少し、その他の金属製家具などが増加しました。

## <印刷業>

－生産、出荷とも2年ぶりの低下－



### <生産>

生産指数(原指数)は、73.0で前年比5.8%低下し、2年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、包装印刷や建装材印刷が減少し、商業印刷などが増加しました。  
また、全国の印刷業の生産指数(同)は、97.8で前年比2.1%低下し、7年連続して低下しました。

### <出荷>

出荷指数(原指数)は、71.1で前年比5.7%低下し、2年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、包装印刷や建装材印刷が減少し、商業印刷などが増加しました。

### 3 財別の出荷動向

#### ー 最終需要財は2年連続して上昇、生産財は2年ぶりの低下 ー

2022年の出荷動向を特殊分類による財別でみると、最終需要財出荷指数（原指数）は、97.7で前年比6.2%上昇し、2年連続して上昇しました。

また、生産財出荷指数（原指数）は、83.8で前年比2.2%低下し、2年ぶりに低下しました。

これらの財を四半期別（季節調整済指数）にみると、最終需要財は、Ⅰ期は前期比1.9%低下、Ⅱ期は同4.6%上昇、Ⅲ期も同7.7%上昇、Ⅳ期は同2.0%低下しました。生産財は、Ⅰ期は前期比1.3%低下、Ⅱ期は同1.6%上昇、Ⅲ期も同0.6%上昇、Ⅳ期も同0.9%上昇しました。

#### (1) 最終需要財

##### ア 投資財（資本財・建設財）

資本財出荷指数（原指数）は、90.0で前年比6.5%上昇し、2年連続して上昇しました。

品目別にみると、フラットパネル・ディスプレイ製造装置や半導体製造装置などが増加し、無線応用装置などが減少しました。

建設財出荷指数（原指数）は、96.0で前年比4.1%上昇し、2年連続して上昇しました。

品目別にみると、普通鋼鋼管やガス機器などが増加し、生コンクリートなどが減少しました。

##### イ 消費財（耐久消費財・非耐久消費財）

耐久消費財出荷指数（原指数）は、152.3で前年比27.7%上昇し、2年連続して上昇しました。

品目別にみると、小型乗用車や普通乗用車などが増加し、パーソナルコンピュータなどが減少しました。

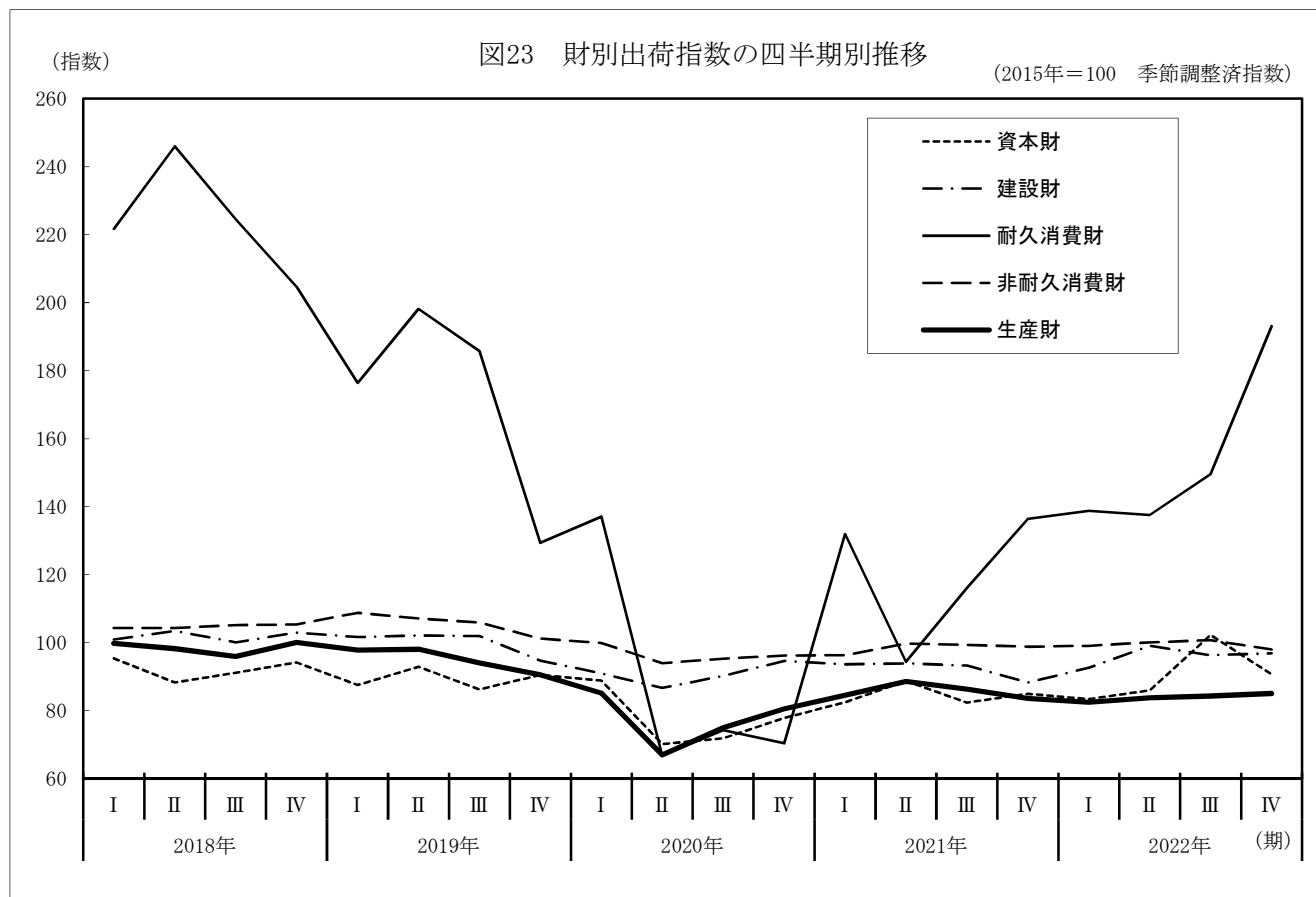
非耐久消費財出荷指数（原指数）は、99.4で前年比0.8%上昇し、2年連続して上昇しました。

品目別にみると、医薬品や化粧品などが増加し、ガソリンなどが減少しました。

#### (2) 生産財

品目別にみると、ガソリンやナフサなどが減少し、エンジン（自動車用）などが増加しました。

(P19図23、P20表9・表10 参照)



(特殊分類についてはP82、P84表11参照)

表 9 財別出荷指数の対前年・対前期増減率

(2015年=100)

財	年・期	2019年	2020年	2021年	2022年	2021年	2022年			
						IV	I	II	III	IV
製造工業	指数	97.7	81.4	88.8	90.8	88.3	87.4	89.7	93.7	93.2
	対前年(期)増減率%	△ 4.3	△ 16.7	9.1	2.3	△ 0.1	△ 1.0	2.6	4.5	△ 0.5
最終需要財	指数	100.4	85.6	92.0	97.7	93.5	91.7	95.9	103.3	101.2
	対前年(期)増減率%	△ 5.0	△ 14.7	7.5	6.2	4.0	△ 1.9	4.6	7.7	△ 2.0
投資財	指数	90.0	79.2	85.3	90.7	85.2	84.3	87.5	101.4	91.4
	対前年(期)増減率%	△ 3.4	△ 12.0	7.7	6.3	1.9	△ 1.1	3.8	15.9	△ 9.9
資本財	指数	88.7	77.7	84.5	90.0	85.0	83.4	86.0	102.3	90.7
	対前年(期)増減率%	△ 3.7	△ 12.4	8.8	6.5	3.2	△ 1.9	3.1	19.0	△ 11.3
建設財	指数	99.7	91.0	92.2	96.0	88.3	92.6	99.1	96.3	96.9
	対前年(期)増減率%	△ 2.4	△ 8.7	1.3	4.1	△ 5.4	4.9	7.0	△ 2.8	0.6
消費財	指数	116.6	95.5	102.2	108.5	105.9	103.8	106.9	109.3	114.9
	対前年(期)増減率%	△ 6.7	△ 18.1	7.0	6.2	3.9	△ 2.0	3.0	2.2	5.1
耐久消費財	指数	171.2	92.1	119.3	152.3	136.5	138.8	137.6	149.6	193.1
	対前年(期)増減率%	△ 22.7	△ 46.2	29.5	27.7	17.6	1.7	△ 0.9	8.7	29.1
非耐久消費財	指数	105.3	96.2	98.6	99.4	98.8	99.1	100.1	100.8	98.0
	対前年(期)増減率%	0.4	△ 8.6	2.5	0.8	△ 0.6	0.3	1.0	0.7	△ 2.8
生産財	指数	94.9	77.3	85.7	83.8	83.6	82.5	83.8	84.3	85.1
	対前年(期)増減率%	△ 3.8	△ 18.5	10.9	△ 2.2	△ 3.2	△ 1.3	1.6	0.6	0.9

\*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

表 10 財別出荷指数の上昇又は低下に寄与した主要品目

財	対前年増減率%	寄与度(ポイント)	上昇又は低下に寄与した主な品目	
			増	減
資本財	6.5	1.68	増	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置、プラスチック加工機械など
			減	無線応用装置、小型トラック、光ファイバ通信用ケーブルなど
耐久消費財	27.7	1.26	増	小型乗用車、普通乗用車、自動車用照明器具など
			減	パーソナルコンピュータ、石油機器
非耐久消費財	0.8	0.15	増	医薬品、化粧品、合成洗剤など
			減	ガソリン、その他の調味料、冷凍調理食品など
建設財	4.1	0.14	増	普通鋼鋼管、ガス機器、普通鋼鋼板など
			減	生コンクリート、スチール・ステンレス製建具、セメントなど
生産財	△ 2.2	△ 1.07	増	エンジン(自動車用)、精製及び混合原料油、プラスチック製機械器具部品など
			減	ガソリン、ナフサ、合成ゴムなど

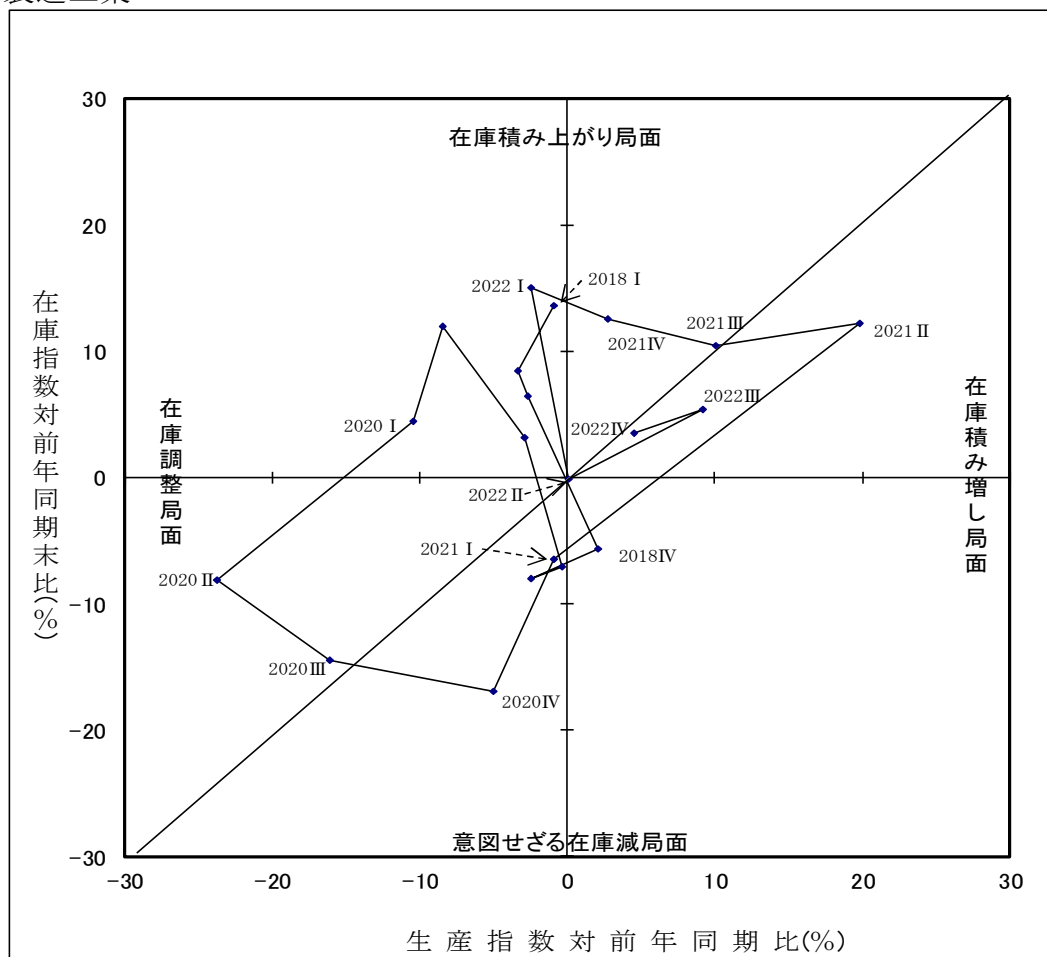
## <参考>在庫循環図

2022年Ⅰ期の生産指数(原指数)は前年同期比2.5%低下し、在庫指数(同)は前年同期末比15.0%上昇しました。Ⅱ期の生産指数(同)は前年同期比0.1%上昇し、在庫指数(同)は前年同期末比0.1%低下しました。Ⅲ期の生産指数(同)は前年同期比9.2%上昇し、在庫指数(同)は前年同期末比5.4%上昇しました。Ⅳ期の生産指数(同)は前年同期比4.5%上昇し、在庫指数(同)は前年同期末比3.5%上昇しました。

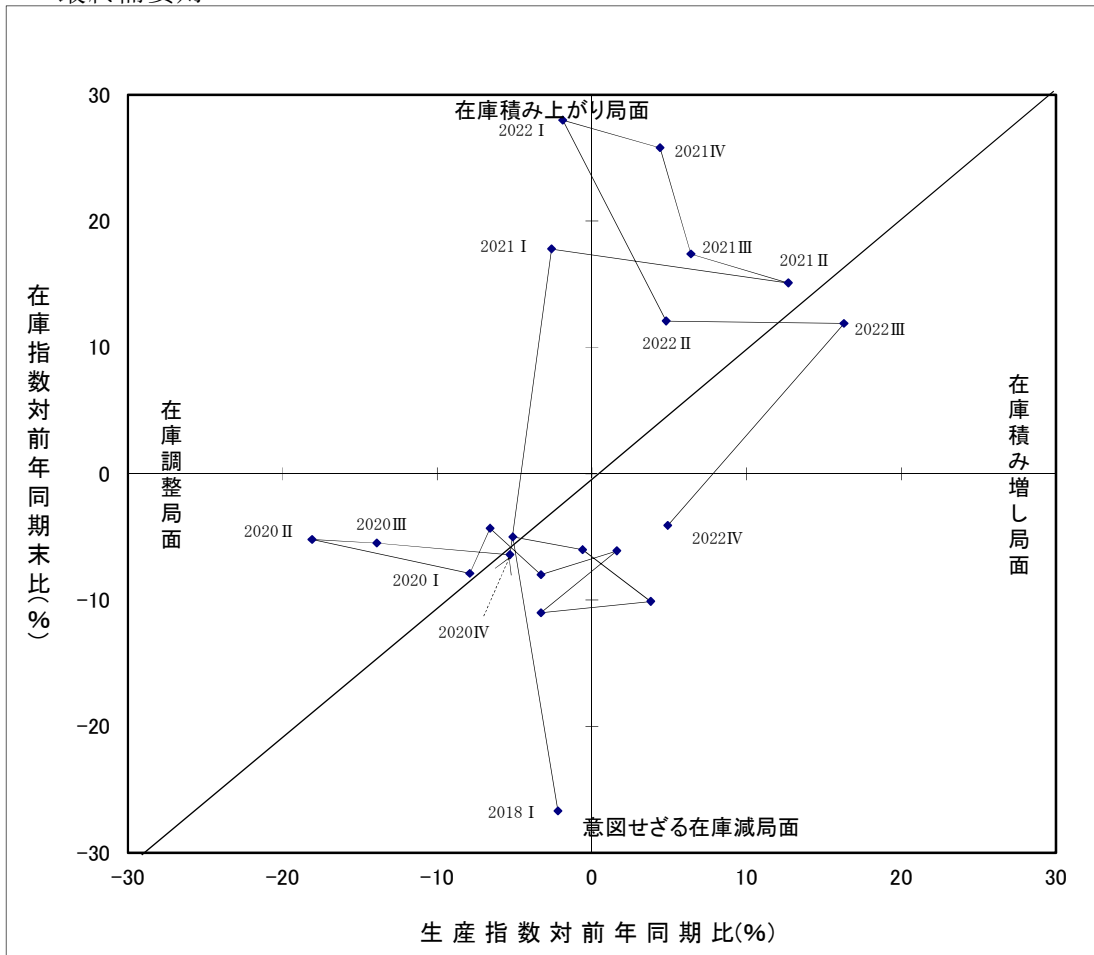
※在庫循環図の見方(生産と在庫について、以下のような循環がみられる場合が多い。)

- 意図せざる在庫減局面:需要が予測を上回り、一時的に在庫が減少する。
- 在庫積み増し局面:生産を増加させて、在庫を積み増している。
- 在庫積み上がり局面:需要が予測を下回り、在庫が積みあがってしまう。
- 在庫調整局面:生産を縮小し、積みあがった在庫を減らしている。

### 製造工業



最終需要財



生産財

